

療養休暇・休職 事例集

平成 1 7 年 3 月	初版
平成 2 3 年 3 月	改訂
平成 2 5 年 3 月	改訂
令和 元年 5 月	改訂
令和 7 年 9 月	改訂

海部公立小中学校事務研究会

目 次

- 1 療養休暇・休職制度の概要と取り扱いについて
- 2 精神性以外の疾患（身体の故障）による療休・休職の場合
- 3 精神性疾患による療休・休職の場合
- 4 切迫流産による療休・休職の場合

1 療養休暇・休職制度の概要と 取り扱いについて

療養休暇について

1 療養休暇とは

- ・職員が負傷または疾病のために療養する必要がある場合に与えられる休暇です。
- ・「負傷または疾病」とは、精神的・肉体的に不健康な状態に陥っている場合をいいます。
- ・入院治療はもちろん自宅における療養も含みます。
- ・かぜによる発熱、頭痛、腹痛なども含みますが、週休日を除き引き続き6日以上にわたり療養休暇を取得する場合は、診断書等何らかの医師の証明等が必要です。
- ・医師などによる治療行為の有無は、絶対条件ではありません。
- ・職員の請求に基づいて、事前の年次休暇の取得の有無とは関係なく与えられます。

事 由	日数及び期間	単位	提出書類	給与
① 公務上の傷病、通勤による傷病のため療養を要する場合	療養に要する必要最小限度の期間	1日(通院のため必要がある場合は1時間)	週休日を除き引き続き6日以上にわたる場合及び時間単位の場合は医師の診断書	有
② 愛知県公立学校教職員健康管理要領の規定により勤務時間の短縮措置が講じられた場合	3月を超えない範囲内においてその療養に必要な期間(学校長の判断により3か月の範囲内で延長可)	1時間	なし	有
③ ①および②以外の場合(特定療養休暇)	連続して90日を超えない範囲内	1日(通院のため必要がある場合は1時間)	週休日を除き引き続き6日以上にわたる場合及び時間単位の場合は医師の診断書	有

2 期間、提出書類の留意事項

- ・週休日や休日の前後にわたるときは、週休日や休日を療養休暇の期間に含めて計算します。
- ・通院など時間単位で療養休暇を取得する場合、最初に医師の診断書を提出します。
- ・週休日を除き連続して5日以内の療養休暇の取得する場合でも診察券、薬袋などで確認し、療養休暇の必要性を判断することが望ましいです。
- ・療養休暇が1月以上にわたる場合は、休暇期間1月ごとに医師の証明書を提出します。
(たとえ「3ヶ月の療養を要する」という診断書が当初に取れていても)

3 その他の留意事項

- ・「特定療養休暇」には短期間の療養休暇を断続的に繰り返して取得することを防止するために、クーリング期間（療養休暇通算判定期間）が設けられています。
- ・クーリング期間とは連続して8日以上の特定期間の特定療養休暇を与えられた場合、その休暇の末日の翌日から実勤務日数が20日に達するまでの間に、再び特定療養休暇を与えられた時には前後の特定療養休暇の期間は連続しているとみなします。この考えから連続して90日を超えないという判断をします。
- ・引き続き1月以上の療養休暇を受けた後に、職務に復帰する場合には「治癒または勤務につくことは支障ない」旨の医師の証明書を提出します。

「療養休暇」制度及び「病気休職」制度の取り扱いについて

1 療養休暇制度の取り扱いについて

- (1) 療養休暇の期間は、傷病による療養のために必要とされる最小限度の期間とする。

療養休暇の事由には以下の3種類がある。

- ① 公務災害及び通勤災害の場合
- ② 勤務時間の短縮措置を講じられた場合

勤務時間の短縮措置は、3月を超えない範囲内においてそのために必要な期間（時間単位）について認められる。ただし、所属長が認めるときは、3月の範囲内でこれを延長することができる。

- ③ 上記①及び②以外の場合（以下「特定療養休暇」という）

特定療養休暇の期間は以下の日を除き、連続して90日を超えることはできないこととする。

- ・ 特定療養休暇以外の療養休暇を取得した日
- ・ 特定療養休暇以外の療養休暇期間中の週休日、休日、そのほか療養休暇の日以外の勤務をしない日

- (2) 連続する8日以上（当該期間における要勤務日数が3日以下である場合には、連続する8日以上（当該期間における要勤務日数が4日以上）の期間）の特定療養休暇を与えられた職員が、その特定療養休暇の期間の末日の翌日から、実勤務日数が20日に達する日までの間に、再び特定療養休暇を与えられたときは、前後の特定療養休暇の期間は連続しているものとみなす。

＊要勤務日数とは、全ての日から下記の日を除いた日のことである。

- ① 週休日

- ② 時間外代休時間が指定された勤務日（勤務時間の全部について割り振られた場合に限る）

時間外代休時間とは月60時間を超える時間外勤務をした職員に対し、時間外勤務手当の支給割合の引き上げの代わりに、正規の勤務時間を含む全勤務時間の一部または全部について代休を割り振ることができる制度のこと。

- ③ 休日

- ④ 休日の代休日

- (3) 与えられた特定療養休暇の期間が90日に達した日後においても、引き続き、当初の傷病とは明らかに異なる傷病のため療養する必要があるときは、当該90日に達した日の翌日以後においても当該明らかに異なる傷病に係る特定療養休暇を承認することができる。この場合において、当該明らかに異なる傷病にかかった日以後における特定療養休暇の期間は、連続して90日を超えることはできない。また、症状が明らかに異なると認められるものであっても、病因が異なるものでない限り当初の傷病とは明らかに異なる傷病とは認められない。そのため、明らかに異なる傷病に該当するかは医師の診断を踏まえた上で校長が判断するものとする。
- (4) 与えられた特定療養休暇の期間が90日に達した日の翌日から、実勤務日数が20日に達する日までの間に、当初の傷病とは明らかに異なる傷病のため療養する必要があるときは、当該明らかに異なる傷病に係る特定療養休暇を承認することができる。
- この場合において、当該特定療養休暇の期間は、連続して90日を超えることはできない。
- (5) 特定療養休暇の期間計算において、連続する特定療養休暇の間にある週休日、休日、療養休暇以外の休暇等により勤務しない日は、特定療養休暇を与えられた日とみなす。
- (6) 時間単位で特定療養休暇を与えられた日は、全日の特定療養休暇を与えられた日と同様、連続90日の期間計算に算入する。
- (7) 休職制度が適用されない、条件附採用期間中の職員（新規採用職員）及び臨時的に任用された職員の療養休暇の期間は、傷病による療養のために必要とされる最小限度の期間とする。

2 病気休職の通算等について

- (1) 病気休職から復職後、6月以内において同一の傷病により再び休職にされた場合の休職期間は、給与上の取扱いも含め、通算する。
- (2) 病気休職から復職後、6月以内において同一の傷病により、休養を要すると認められる場合には、新たに療養休暇の取得を認めるのではなく、原則、病気休職として対応していくこととする。

療養休暇 と 特定療養休暇 の別、 および その期間	
① 公務・通勤での傷病(公務災害・通勤災害)のために療養を要する場合・・・・・・・・・・	その療養に必要な期間
② 愛知県公立学校教職員健康管理要領の規定（事後措置基準でB 1～B 2）により勤務時間の短縮措置が行われた場合・・・・・・・・・・	3月を超えない範囲内においてその療養に必要な期間 (学校長の判断によりさらに3か月の範囲内で延長可)
(※上記①～②のための休暇を「療養休暇」と言う)	
③ ①及び②以外の療養を要する場合・・・・・・・・・・	その療養に必要な期間（90日以内）
(※③のための休暇を「 特定療養休暇 」と言う)	

ことがら	必要手続き	必要書類	その他（給与等）
診察 (必要に応じて 医師の証明書を 添付)	年休処理する場合	① 年次休暇処理簿	(該当月に勤務実績が無い場合は、通勤手当、管理職の場合は管理職手当に注意＝以下同様)
	療休あるいは特定療休の処理をする場合	① 療養休暇承認簿 ② 医師の証明書（週休日を除いて6日以上療養休暇を取得した場合のみ必要） 1ヶ月以上の長期の場合 長期療養休暇者の報告[服様式例3]	
一定期間以上の療養休暇及び 特定療養休暇 ならば補充職員	2週間以上に渡る場合で教育の円滑な実施に支障をきたす場合 派遣非常勤講師採用手続きをする	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	
	1ヶ月以上の長期に渡る場合で、休職発令が見込まれる場合（養護教諭の場合は2週間） 療養休暇補充教員採用手続きをする	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	校長が1か月以上の長期療養休暇を取得する場合は、職務代理手続きが必要。

			詳細は別紙「管理職員（校長、教頭）の特定療養休暇、休職について」を参照。
休暇から復帰	<p>90日以前で復帰する場合</p> <p>1ヶ月以上療養休暇を受けた場合</p> <p>※クーリング期間がいつまでかを確認しておく</p>	<p>長期療養休暇終了の報告[服様式例4]の提出</p> <p>「治ゆ又は勤務に就くことは支障ない」旨の医師の証明書が必要</p>	<p>給与支給(100%)</p> <p>(昇給延伸に注意)</p>
特定療養休暇	<p>90日を越えても療休する場合</p> <p>(その超える期間につき、給料の月額及びこれに対する地域手当の合計額に100分の50を乗じて得た額を減額する)</p> <p>*新規採用者等、休職を取得できない職員に限り、90日を越えて特定療養休暇を取得することができる。</p>	<p>90日を越えずに休職に入るのが一般的</p>	<p>今月の減額分を翌月給料から減額。</p> <p>人管システムの「休暇・出勤」画面から登録。</p> <p>変更年月日：91日目を選択</p> <p>事由名：「休暇（その他）90日越え」を選択</p> <p>なお、会計年度が異なるため3月の減額分は4月分からは相殺できない。その場合は、返納理由書・内訳書を作成し、減額分を手納付する。</p>

(復帰できず) 休職審査	休職に入る場合 休職審査手続き(休職発令予定50日前までに) 切迫流産の場合、休職審査(復職審査)は行われないので、すぐに休職内申(復職内申)をする。	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	管理職員(校長、教頭)の身分を保有したまま休職することはできないため、管理職員の場合は任用替(降任)の手続きが必要になる。詳細は別紙「管理職員(校長、教頭)の特定療養休暇、休職について」を参照。
休職審査 事後措置決定 指示書送付	指導区分(別表参照)		
措置変更審査	事後措置 A1 以外の指示があった場合で措置変更の必要がある場合 措置変更審査手続き	① 措置変更審査願[人様式例25] 及び 休職審査の①～⑧ 結核の場合は⑨も (⑨は教育事務所1部、その他は市教委1部、教育事務所2部提出)	
休職	事後処置 A1 の指示があった場合 休職内申手続き 休職補充教職員採用手続きも同時に進める	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	
休職発令	(休職者は、職員としての身分を有するが職務には従事しない)		履歴データ確認

休職の効果	休職の期間は3年を越えない範囲内において、休養を要する程度に応じて定められる。ただし、公務上の傷病による休職の期間は、その休養のために必要な期間とする。		結核性疾患は満3年まで100%支給、心身の故障による休職は満2年まで80%支給（3年目は無給）
精神性疾患に係る休職後6か月時の報告	精神性疾患に係る休職者については休職後6か月時に報告が必要。	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」第4人事 の項を参照	
休職期間の <u>延長</u> (結核の場合)	休職期間延長審査手続き 休職期間満了の日の2ヶ月前まで	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」第4人事 の項を参照	結核休職の場合は「延長」と言う
休職期間の <u>更新</u> (結核以外の場合)	休職期間更新審査手続き 休職期間満了の日の2ヶ月前まで	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」第4人事 の項を参照	結核以外の休職の場合は「更新」と言う
休職期間の <u>延長</u> <u>(更新)</u> 審査 事後措置決定 指示書送付	指導区分（別表参照）		
休職期間の <u>延長</u> <u>(更新)</u>	休職期間の延長（更新）内申手続き 休職補充教職員採用手続きも同時に進める	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」第4人事 の項を参照	

復職審査	<p>復職審査手続き 休職期間満了の日、復職予定日の2か月前まで</p> <p>※（切迫流産の場合、復職審査手続きは不要だが、出産予定日前4週間に当たる日より前に復職したい（産前休暇に入りたい）場合は、復職審査が必要になる。）</p>	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	
復職審査 事後措置決定 指示書送付	指導区分（別表参照）		
復職内申	<p>事後措置A1以外の指示の場合</p> <p>復職内申手続き</p> <p>復職時の給与調整（内申）手続き</p>	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	
	切迫流産を理由とした休職から復職の場合	「学校文書事務の手引(海部地方事務協議会版)」 第4人事 の項を参照	
復職発令		長期療養終了報告	履歴データ入力

別表

指導区分	事後措置基準	
	生活規正	医療
A1	休暇又は休職の方法で療養に必要な期間勤務させない。	医師の指示により、必要な医療を受ける。
	必要に応じ次の措置をとること。	
	1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また出張は原則として命じない。	
B1	2 始業及び終業時間を各1時間繰り下げ及び繰り上げる。又は終業時間を2時間繰り上げる。	同上
	3 業務量の軽減等の措置を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。	
	* 上記2は時間単位の療養休暇によるものであり、3か月を超えない範囲内においてその必要な期間(時間単位)が認められる。ただし、学校長が必要と認めるときは、さらに3か月の範囲内で延長が可能である。なお、期間延長が可能となる者は後保護を実施した者とする。	
	必要に応じ次の措置をとること。	
	1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また出張は原則として命じない。	
B2	2 始業及び終業時間を各1時間繰り下げ及び繰り上げる。又は終業時間を2時間繰り上げる。	3か月に1回以上医師による経過観察並びに指導を受ける。
	3 業務量の軽減等の措置を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。	
	* 上記2は時間単位の療養休暇によるものであり、3か月を超えない範囲内においてその必要な期間(時間単位)が認められる。	
	必要に応じ次の措置をとること。	
C1	1 超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。又はこれらの勤務を制限する。	医師の指示により、必要な医療を受ける。
	2 出張はできる限り少なくする。	
C2	同上	6か月に1回以上医師による経過観察並びに指導を受ける。
D1	勤務に制限を加えない。	医師の指示により、必要な医療を受ける。
D2	同上	6か月に1回以上医師による経過観察並びに指導を受ける。
D3	同上	医療又は、検査等の措置を必要としない。

(参考)

教職員の健康管理手続き一覧表

(市町村立小中学校教職員)

区分	種類	提出書類等	県教育委員会への提出者	提出年月日	留意事項
結核	定期健康診断	公立学校教職員定期健康診断報告書(様式第6) 1部	市町村教委→教育事務所	毎年 9月30日まで	市町村教委において、事後措置の決定を行う。 A1を指示された者は、指導区分の変更を受けなければ勤務につくことができない。
	休職審査	ア 休職審査願(様式第8) イ 状況報告書(様式第9) ウ 校長の意見書(具体的観察事項を含む) エ 市町村教育委員会の意見書 オ 主治医の診断書(様式第15) カ X線フィルム(発病から現在まで) キ その他参考となる資料 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	休職発令予定日 50日前まで	市町村教委によりA1の事後措置を指示された者でも休職する者はすべて必要
	措置変更審査	措置変更審査願(様式第10) 必要な資料を添える 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	必要あるとき	県教委において決定された事後措置を変更する時に行う。
	休職期間延長審査、 復職審査	ア 休職期間延長審査願(様式第11) 又は復職審査願(様式第12) イ～キ 休職審査に同じ 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	休職期間満了日 又は復職予定日の2か月前まで	
	結核の発病	発病報告書(様式第2) 1部	校長→市町村教委→教育事務所	すみやかに	結核の診断を新たに受けた者はすべて必要
結核以外の疾病	定期健康診断	公立学校教職員定期健康診断(結核以外の疾病)報告書(様式第7) 1部	市町村教委→教育事務所	毎年 9月30日まで	
	休職審査	ア 休職審査願(様式第8) イ 状況報告書(様式第9) ウ 校長の意見書(具体的観察事項を含む) エ 市町村教育委員会の意見書 オ 主治医の診断書(様式第15) カ その他参考となる資料 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	休職発令予定日 50日前まで	市町村教委によりA1の事後措置を指示された者でも休職する者はすべて必要
	措置変更審査	措置変更審査願(様式第10) 必要な資料を添える 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	必要あるとき	県教委において決定された事後措置を変更する時に行う。
	休職期間更新審査、 復職審査	ア 休職期間更新審査願(様式第11) 又は復職審査願(様式第12) イ～カ 休職審査に同じ 各1部	本人→校長→市町村教委→教育事務所	休職期間満了日 又は復職予定日の2か月前まで	精神性疾患(関連疾患を含む)の復職審査は、特に長期間を要するので留意すること
	感染症の発病	発生報告書(様式第2) 1部	校長→市町村教委→教育事務所	すみやかに	規則第18条第1項に定める第一種感染症に罹患した時、ただしエボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)及び鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH5N1であるものに限る。)については疑似症も適応する

休職者等の給与（条例第29条、30条）

1. 療養休暇中の給与（勤務時間条例第11条、給与条例第29条）

- （1）公務上の傷病のため療養する場合は、その療養に必要な期間、給料の全額が支給される。
- （2）結核性疾患のため療養する場合は、給料の全額が3年間支給される。
- （3）私傷病のため療養する場合（特定療養休暇）は、給料の全額が90日支給される。

2. 休職者の給与（地公法第28条、分限条例第2条、給与条例第30条）

（1）種類と支給期間

事由	支給される給与の割合	支給期間
公務上傷病	給与の全額	休職の期間中
教特法14条による場合の 教員の結核休職	給与の全額	3年間
同上 結核以外の私傷病休職	給料、扶養手当、地域手当、住居手当、 期末手当、寒冷地手当の8割	2年間
同上 刑事事件休職	給料、扶養手当、地域手当、住居手当の 6割以内	休職の期間中

注① 結核性疾患による休職の場合、3年が経過すると自動的に復職となり、普通の勤務が出来ない場合は分限免職となる。

注② 一般私傷病の場合、2年間8割が保証され、以後1年間無給で、3年経過すると自動的に復職となり、勤務できない場合は分限免職となる。

7 藤小発第〇〇〇号
令和 7 年 7 月 1 5 日

海部地方教育事務協議会長 殿
津島市教 育 委 員 会 殿

津島市立藤小学校長

長期療養休暇者について（報告）

このことについて、下記の者は長期療養の必要があると認めます。

記

1 長期療養休暇者

職 名	教諭
氏 名	尾張 あまね
性 別	女
生 年 月 日	平成 元 年 3 月 8 日

2 病 名

右腎う腫瘍

3 療養休暇の期間

令和 7 年 7 月 1 6 日から令和 7 年 1 0 月 1 3 日
9 0 日間

4 その他参考事項

（備考）医師の診断書又は意見書と「療養休暇承認簿」の写しを添付する。

管理職員（校長、教頭）の職務代理・職務代行・任用替えについて

校長が、長期または遠隔の旅行、病気（１か月以上の療養休暇・特定療養休暇）その他の事由により、その職務につき、自ら意志決定をし、その事務処理について所属職員を有効に指揮監督出来ない場合に、職務代理の手続きが必要となる。

この場合、あらかじめ、教育委員会に協議し、その協議がととのった後において、校長の職務を代理する。

校長職務代理手続き

「校長職務代理協議」（人様式１５）および「校長職務代理報告」（人様式１６）

また校長が、死亡、依願退職、失職、分限免職等によりいなくなった時には、職務代行の手続きが必要となる。

校長が欠けたときは、教頭がその職務を行うものとし、教育委員会の別段の指示がある場合を除き、その旨を教育委員会へ報告すること。

校長職務代行手続き

「校長職務代行報告」（人様式１７）および（人様式１８）

休職に入る場合は、校長、教頭の身分を有したまま休職することはできない。

校長、教頭職を免職し、教員に任用する任用替（降任）の手続きが必要になる。

任用替（降任）手続き

内申書（人様式１０）・履歴カード・降任理由書（人様式１１）・免許状写し

初任給算定履歴書

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7 年 7 月 1 5 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

派遣非常勤講師の採用について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発令 年月 日	学 校 名	派 遣 非 常 勤 講 師					採用事由
		氏 名	任用期間	免許状		性 別	
				種類	教科		
7 ・ 9 ・ 1	津島市立藤小学校 (60000)	津島 イチロー (B000000)	令和7. 9. 1 から 令和7. 10. 13まで	小 二 種		男	教諭 尾張あまね (1000000) 療休補充
・ ・			・ から ・ まで				
・ ・			・ から ・ まで				

(備考) 採用者の氏名欄に職員番号も記入すること。

〔人様式7〕

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7年 7月15日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

派遣非常勤講師派遣申請書

貴職において定められた市町村立小中学校非常勤講師派遣要綱第3条の規定に基づき、下記のとおり非常勤講師の派遣を申請します。

記

区分	派遣学校名	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	派遣期間	週当り勤務時間 合計勤務時間	担当 教科	派遣理由
第7号	津島市立 藤小学校 (60000)	ツマ イチロー 津島イチロー (B000000)	平成 6. 1. 6	男	7. 9. 1 ～ 7. 10. 13	週24時間 年148時間		教諭 尾張あまね (1000000) 療休補充

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 「区分」の欄には、市町村立学校非常勤講師派遣要綱第2条に基づくいずれかの補充事由を記入すること。また、初任者研修補充については、「派遣事由」の欄に指導教員（教科指導員）か又は指導教員（教科指導員）の後補充かを記入すること。

海教第 号
令和 年 月 日

津島市教育委員会 殿

愛知県教育委員会

派遣非常勤講師派遣決定書

令和 7年 7月15日付津島教学第〇〇〇号で申請のありました派遣非常勤講師の派遣については、下記のとおり決定しました。

記

区分	派遣学校名	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	派遣期間	週当り勤務時間 合計勤務時間	担当 教科	派遣理由
第7号	津島市立 藤小学校 (60000)	ツマ イチロー 津島イチロー (B000000)	平成 6. 1. 6	男	7. 9. 1 ～ 7. 10. 13	週24時間 年148時間		教諭 尾張あまね (1000000) 療休補充

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 「区分」の欄には、市町村立学校非常勤講師派遣要綱第2条に基づくいずれかの補充事由を記入すること。また、初任者研修補充については、「派遣事由」の欄に指導教員（教科指導員）か又は指導教員（教科指導員）の後補充かを記入すること。

〔人様式2－3〕

承 諾 書

令和 7年 7月15日

愛知県教育委員会 殿

住 所 津島市〇〇町

氏 名 津島 イチロー

平成 6年 1月 6日生

今回派遣非常勤講師として採用されるについては、その任用期間は令和 7年 9月
1日から令和 7年10月13日までであることを承諾します。

ただし、学校運営上の必要のために、上記の期間内において解任されることがあつても異存ありません。

欠 格 条 項 申 告 書

愛知県教育委員会 殿

私には、地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当する事実はありません。

令和 7年 7月15日

氏 名 津島 イチロー

記

地方公務員法第16条（欠格条項）

- 一 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

学校教育法第9条（欠格事由）

- 一 禁錮以上の刑に処せられた者
- 二 教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 三 教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

備考 学校教育法第9条第2項及び第3項の規定は、任用資格として教育職員免許法に規定する免許状を有することとされる場合に限る。

〔人様式12〕

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7 年 7 月 15 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

常勤講師（派遣非常勤講師）措置願について

このことについて別紙のと通りの事情をご推察のうえ、常勤講師（派遣非常勤講師）の措置をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職 氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名※（事由）右腎う腫瘍
- 4 臨時講師措置期間
自 令和 7 年 9 月 1 日
至 令和 7 年 10 月 13 日
- 5 そ の 他

※（ ）は研修派遣の派遣非常勤講師の場合

〔人様式例13〕

校 長 意 見 書

- | | |
|-------------|--|
| 1 校 名 | 津島市立藤小学校 |
| 2 職 氏名 | 教諭 尾張 あまね |
| 3 診 断 病 名 | 右腎う腫瘍 |
| 4 発病年月日 | 令和7年7月4日 |
| 5 加療施設名 | 〇〇病院
愛知県津島市△△ |
| 6 加療経過 | 7月4日に血尿と激しい腹痛を訴えたため、検査入院した。検査の結果、7月15日「右腎う腫瘍」と診断され、腎臓全体の摘出手術を行なった。今後は、術後の再発を防ぐため、抗ガン剤治療と放射線治療を継続的に実施していく予定である。 |
| 7 健康状態の現状 | 体力的にも低下しており、起き上がることはできるが、立ち上がったり歩いたりすることは困難である。現在、療養休暇中であるが、回復には、なお時間が必要であると考えられる。 |
| 8 勤務に対する状況 | 7月4日より入院しており、1日7時間45分の勤務は不可能である。そのため、7月4日、7月7日～7月11日、7月14日～7月15日は年次有給休暇を、7月16日からは療養休暇をとっている。職場復帰をするためにも、治療に専念し、長期間療養することがよいと考えられる。 |
| 9 学校運営上の問題点 | 7月4日から1名減で学校運営をしている。特に、担当学級の授業に支障を来しているため、非常勤講師の派遣を是非お願いしたい。 |

令和 年 月 日

職 氏名

※（ ）は派遣非常勤講師で研修派遣の場合、この場合6～8不要

勤 務 予 定 表

学 校 名	勤 務 者 名	担 任 授 業 等
津島市立藤小学校	津島イチロー	○年○組各教科 ※右側は中学校の例

月	日	曜	勤務 時間数	授 業 内 容 等	月	日	曜	勤務 時間数	授 業 内 容 等
9	1	月	4	算理社	9	1	月	5	国語4 クラブ1
9	2	火	5	算音社理国	9	2	火	5	国語5
9	3	水	5	国算図図体	9	3	水	4	国語4
9	4	木	5	音国理社算	9	4	木	5	国語5
9	5	金	5	体国図図算	9	5	金	5	国語5
	小計		5日	24時間		小計		5日	24時間
9	8	月	5	国算理社道	9	8	月	5	国語4 クラブ1
9	9	火	5	算音社理国	9	9	火	5	国語5
9	10	水	4	国算図図	9	10	水	4	国語4
9	11	木	5	音国理社算	9	11	木	5	国語5
9	12	金	5	体国図図算	9	12	金	5	国語5
	小計		5日	24時間		小計		5日	24時間
9月	計		20日	96時間	9月	計		20日	96時間

※ 週・月ごとの小計と総合計を表の中に入れる。

〔人様式例 1 4 - 1〕

勤 務 予 定 表 (記入例)

学 校 名	勤 務 者 名	担 任 授 業 等
〇〇〇立〇〇〇学校	〇 〇 〇 〇	3 年 1 組担当 国語 1 年 3 クラス担当 音楽 5, 6 年担当

(小学校記入例)

(中学校記入例)

月	日	曜	勤務 時間数	授 業 内 容 等	月	日	曜	勤務 時間数	授 業 内 容 等
5	7	月	5	国 算 理 理 社	5	1	火	5	国語 5
	8	火	5	国 社 算 体 ク		2	水	5	国語 4 クラブ 1
	9	水	5	国 国 社 算 学		小計		2 日	1 0 時間
	1 0	木	5	国 体 図 図 音		7	月	4	国語 4
	1 1	金	4	道 算 理 音		8	火	5	国語 5
	小計		5 日	2 4 時間		9	水	5	国語 4 クラブ 1
	1 4	月	5	国 算 理 理 社		1 0	木	5	国語 5
	1 5	火	5	国 社 算 体 ク		1 1	金	5	国語 5
	1 6	水	5	国 国 社 算 学		小計		5 日	2 4 時間
	1 7	木	5	国 体 図 図 音		1 4	月	4	国語 4
	1 8	金	4	道 算 理 音		1 5	火	5	国語 5
	小計		5 日	2 4 時間		1 6	水	5	国語 4 クラブ 1
						1 7	木	5	国語 5
						1 8	金	5	国語 5
						小計		5 日	2 4 時間
5 月	計		1 9 日	9 2 時間	5 月	計		2 1 日	1 0 1 時間

※ 週・月ごとの小計と総合計を表の中に入れる。

〔人様式例14－2〕

令和 7 年度 年間勤務計画表

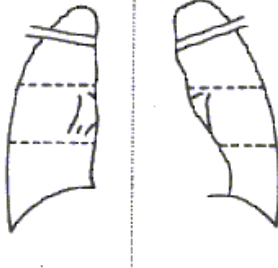
校名(津島市立藤小学校)

勤務者名(津島イチロー)

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 火		1 木		1 日		1 火		1 金		1 月 4		1 水 5		1 土		1 月		1 木		1 日		1 日	
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土		2 火 5		2 木 4		2 日		2 火		2 金		2 月		2 月	
3 木		3 土		3 火		3 木		3 日		3 水 5		3 金 5		3 月		3 水		3 土		3 火		3 火	
4 金		4 日		4 水		4 金		4 月		4 木 5		4 土		4 火		4 木		4 日		4 水		4 水	
5 土		5 月		5 木		5 土		5 火		5 金 5		5 日		5 水		5 金		5 月		5 木		5 木	
6 日		6 火		6 金		6 日		6 水		6 土		6 月 5		6 木		6 土		6 火		6 金		6 金	
7 月		7 水		7 土		7 月		7 木		7 日		7 火 5		7 金		7 日		7 水		7 土		7 土	
8 火		8 木		8 日		8 火		8 金		8 月 5		8 水 4		8 土		8 月		8 木		8 日		8 日	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土		9 火 5		9 木 5		9 日		9 火		9 金		9 月		9 月	
10 木		10 土		10 火		10 木		10 日		10 水 4		10 金 5		10 月		10 水		10 土		10 火		10 火	
11 金		11 日		11 水		11 金		11 月		11 木 5		11 土		11 火		11 木		11 日		11 水		11 水	
12 土		12 月		12 木		12 土		12 火		12 金 5		12 日		12 水		12 金		12 月		12 木		12 木	
13 日		13 火		13 金		13 日		13 水		13 土		13 月		13 木		13 土		13 火		13 金		13 金	
14 月		14 水		14 土		14 月		14 木		14 日		14 火		14 金		14 日		14 水		14 土		14 土	
15 火		15 木		15 日		15 火		15 金		15 月		15 水		15 土		15 月		15 木		15 日		15 日	
16 水		16 金		16 月		16 水		16 土		16 火 5		16 木		16 日		16 火		16 金		16 月		16 月	
17 木		17 土		17 火		17 木		17 日		17 水 4		17 金		17 月		17 水		17 土		17 火		17 火	
18 金		18 日		18 水		18 金		18 月		18 木 5		18 土		18 火		18 木		18 日		18 水		18 水	
19 土		19 月		19 木		19 土		19 火		19 金 5		19 日		19 水		19 金		19 月		19 木		19 木	
20 日		20 火		20 金		20 日		20 水		20 土		20 月		20 木		20 土		20 火		20 金		20 金	
21 月		21 水		21 土		21 月		21 木		21 日		21 火		21 金		21 日		21 水		21 土		21 土	
22 火		22 木		22 日		22 火		22 金		22 月 5		22 水		22 土		22 月		22 木		22 日		22 日	
23 水		23 金		23 月		23 水		23 土		23 火		23 木		23 日		23 火		23 金		23 月		23 月	
24 木		24 土		24 火		24 木		24 日		24 水 4		24 金		24 月		24 水		24 土		24 火		24 火	
25 金		25 日		25 水		25 金		25 月		25 木 5		25 土		25 火		25 木		25 日		25 水		25 水	
26 土		26 月		26 木		26 土		26 火		26 金 5		26 日		26 水		26 金		26 月		26 木		26 木	
27 日		27 火		27 金		27 日		27 水		27 土		27 月		27 木		27 土		27 火		27 金		27 金	
28 月		28 水		28 土		28 月		28 木		28 日		28 火		28 金		28 日		28 水		28 土		28 土	
29 火		29 木		29 日		29 火		29 金		29 月 5		29 水		29 土		29 月		29 木				29 日	
30 水		30 金		30 月		30 水		30 土		30 火 5		30 木		30 日		30 火		30 金				30 月	
		31 土				31 木		31 日				31 金				31 水		31 土				31 火	
日間合計										20日間合計		8日間合計		0日間合計		0日間合計		0日間合計		0日間合計		0日間合計	
時間		0時間		0時間		0時間		0時間		96時間		38時間		0時間		0時間		0時間		0時間		0時間	

〔人様式例 19-1〕

身体検査書

ふりがな 氏 名		男 女	生年月日	年 月 日		
現 住 所				〒 — 電話（ — — ）		
既 往 症	病 名	罹患年月日	治癒年月日	エックス線	年 月 日撮影	
ない場合は／をひく				所 見	所見なし	
					要精検	
身 長	m		B M I		(必要とする検査項目) ()	
体 重	k g					
四肢運動機能異常	なし あり ()				所見あり ()	
視 力	右	()				
	左	()				
聴 力	右	1000Hz(dB) 4000Hz(dB)		その他の 異 常	なし あり()	
	左	1000Hz(dB) 4000Hz(dB)				
血 圧	最大	最小	mmH g			
尿	糖	+ — + ++ +++	再検査又は精密検査の結果			
	蛋白	+ — + ++ +++	就労の可否及び注意事項	なし あり()		
上記のとおり証明します。						
〇〇 年 月 日		医療機関所在地 医 療 機 関 名 医 師 氏 名				

※身体検査書は任用日前3ヶ月以内に内科・眼科・耳鼻科の開設科目のある医療機関にて検査を受け、記載もれのないようにしてください。（公的医療機関に限定しません。）

- 注 1 BMI (Body Mass Index)=体重(kg)÷(身長(m))²
2 視力検査は、() 内に最良矯正視力を記入してください。
3 聴力はオーディオメータにて検査し、難聴が 40dB 以上の場合は、オーディオグラムを添付してください。
4 尿、血圧、聴診、その他において異常所見が認められた場合は、再検査又は精密検査を実施し、その結果を記入又は添付してください。
5 治療中・経過観察中の疾病がある場合、又は、再検査・精密検査にて異常が認められた場合は詳細に記載してください。

欠 格 条 項 申 告 書

愛 知 県 教 育 委 員 会 殿

私には、地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当する事実はありません。

令和 7 年 7 月 15 日

氏 名 津島 イチロー

記

地方公務員法第16条（欠格条項）

- 一 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

学校教育法第9条（欠格事由）

- 一 禁錮以上の刑に処せられた者
- 二 教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 三 教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

備考 学校教育法第9条第2項及び第3項の規定は、任用資格として教育職員免許法に規定する免許状を有することとされる場合に限る。

〔人様式2－1〕

承 諾 書

令和 7年 7月15日

愛知県教育委員会 殿

住 所 津島市〇〇町

氏 名 津島 イチロー

平成 元年 7月16日生

今回臨時的任用教員として採用されるについては、その任用期間は令和 7年 7月16日から令和 7年10月13日までであることを承諾します。

ただし、学校運営上の必要のために、上記の期間内において解任されることがあっても異存ありません。

〔人様式1－1〕

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7 年 7 月 1 5 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

臨時的任用教員の採用について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発令年月日	学校名	臨 時 的 任 用 教 員							採用事由	
		氏 名	職名	給 料		任用期間	免許状			性別
				級	号給		種類	教科		
7・7・16	津島市立藤 小学校 (60000)	津島イチロー 1888888	教諭	1		7.7.16から 7.10.13まで	小 一 種		男 教諭 尾張あまね 1000000 療休補充	
・ ・						・ から ・ まで				
・ ・						・ から ・ まで				

(備考)産休・育児休業補充は、採用事由欄に、産休・育児休業者の職氏名も記入すること。また、採用事由欄に、産休・育児休業者の職氏名 職員番号も記入すること。

〔人様式例12〕

7津島教学第〇〇〇〇号
令和 7年7月15日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

常勤講師（派遣非常勤講師）措置願について

このことについて別紙のと通りの事情をご推察のうえ、常勤講師の措置をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職 氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名※（事由） 右腎う腫瘍
- 4 臨時講師措置期間

自	令和	7	年	7	月	16	日
至	令和	7	年	10	月	13	日

- 5 そ の 他

※（ ）は研修派遣の派遣非常勤講師の場合

7 藤小発 第〇〇〇号
令和 7 年 1 0 月 1 4 日

海部地方教育事務協議会長 殿
津島市教 育 委 員 会 殿

津島市立藤小学校長

長期療養休暇終了について（報告）

このことについて、下記の者が長期療養休暇を受けていましたが全快出勤しました。

記

1 長期療養休暇者

職 名	教 諭
氏 名	尾張 あまね
性 別	女
生 年 月 日	平成 元年 3 月 8 日

2 病 名 右腎う腫瘍

3 療養休暇の期間 令和 7 年 7 月 1 6 日 ～ 令和 7 年 1 0 月 1 3 日

4 その他参考事項

（備考） 医師の診断書又は意見書を添付する。

2 精神性以外の疾患（身体の故障）による 療休・休職の場合

精神性以外の疾患の場合（身体の故障の場合）

療養休暇について

週休日を除き連続する6日以上の場合、医師の診断書(様式は医師の任意書式)によって療養休暇を承認する。療養休暇は最長90日まで認められる。療養休暇が1ヶ月以上わたる場合は「長期療養休暇者について(服様式3)」を提出する。1ヶ月以上の療養休暇後に職場復帰する場合には「長期療養休暇終了について(服様式4)」を提出する。

休職について

療養休暇90日経過後に引き続き長期の療養を要する場合は、休職発令予定日の50日前をめぐに休職審査の手続きをする。この場合の診断書は「診断書（その他の疾患用）人様式24-1」を用いること。審査会からA1の事後措置を指示されたら休職を内申する。

なお、休職に入る場合も・期間更新する場合も・復職する場合のいずれも「まず審査を受け」→「事後措置の指示に従い」→「内申する」という流れを取る。

休職期間は1年を超えず、かつ通算3年を超えない範囲で内申する必要がある、更新も同様である。このため、休職期間は1年単位で内申することが多く、例えば休職期間が満1年を経過しても回復しないときは、更にもう1年期間更新をする。休職した日から引き続き3年を超えない範囲まで休職を更新していくことができる。

(※ 結核は「延長」、それ以外の疾病は「更新」という)

身体の故障の場合は、精神性疾患のように6ヵ月ごとの観察報告書を提出する必要はないが、病状が当初より早く好転することもあるので、日頃から本人と連絡を取っておくこともよい。

療 休 開 始	休 職 開 始	休 職 2 年 目	退 職 内 申	退 職
令和7年		令和8年	令和9年	令和9年
7	10	10	1	3
・	・	・	・	・
16	14	14	頭	31
▼ 90日	▼ 1年	▼ 2年	▼	▼

療養休暇	休 職	退 職
給料 100%支給	休職（1，2年目） 給料 80% 支給	
期末勤勉報告（6月・12月）		
年末調整（7年・8年・9年） 傷病手当金の該当確認 3年特例計算結果報告（共済掛金）		
長期療養者 報告		
※月の全日数を通勤しない場合は、通勤手当を支給しない		
	休職辞令の履歴データ 確認	休職辞令の履歴データ確認

身体の故障による休職事例

学 校 名 津島市立藤小学校
療休・休職職員名 教諭 尾張あまね
生 年 月 日 平成元年 3 月 8 日

経過 初 診 令和 7 年 7 月 4 日

診断名 右腎う腫瘍

令和 7 年 7 月 4 日に病院にかかり、入院。

検査の結果、令和 7 年 7 月 15 日、右腎う腫瘍により 3 ヶ月間の安静加療が必要と診断され、令和 7 年 7 月 16 日から令和 7 年 10 月 13 日まで療養休暇取得（90 日間）

リハビリと抗ガン剤治療を行いながら、今後も継続した治療が必要。（1 年間休職）

それ以後完治せず、休職 2 年目中の令和 9 年 3 月 31 日退職。

結果 令和 7 年 7 月 4 日（金）年次有給休暇

令和 7 年 7 月 7 日（月）～ 11 日（金）年次有給休暇

令和 7 年 7 月 14 日（月）15 日（火）年次有給休暇

令和 7 年 7 月 16 日（水）療養休暇開始

令和 7 年 10 月 13 日（月）療養休暇終了

令和 7 年 10 月 14 日（火）1 年目休職開始

令和 8 年 10 月 13 日（水）1 年目休職満了

令和 8 年 10 月 14 日（木）2 年目休職更新

令和 9 年 3 月 31 日（火）退職

療休・休職補充職員 臨時的任用講師 津島イチロー

生 年 月 日 平成 6 年 1 月 6 日

本事例における提出書類は、「学校文書事務の手引き」を参照すること

療養休暇（長期療休報告） 服 5

休職審査・休職内申（更新含む） 人 38～人 44

退職 人 48・49

補充職員採用 人 6・7

〔人様式例20－1〕

7 藤小第〇〇〇号
令和7年 8月15日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長

休職審査願について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職・氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名 右腎う腫瘍

〔人様式例20－1〕

7 津島教学第〇〇〇号
令和7年8月15日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

休職審査願について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職・氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名 右腎う腫瘍

〔人様式21〕

審 査 願

令和 7 年 8 月 15 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 教諭 尾張 あまね

私は、(休職)・休職の期間延長・休職の期間更新・復職) したいので、審査をお願いします。

- 1 休職
休職予定年月日 令和 7 年 10 月 14 日
- 2 休職期間延長・更新
現休職終了年月日 年 月 日
- 3 復職
事後措置A1を指示された年月日 年 月 日
休職開始年月日 年 月 日

※ 審査事由（休職・休職の期間更新・休職の延長・復職）に○を付すとともに、該当する事由の年月日を記入すること

主治医連絡に関する同意書

令和 7 年 8 月 15 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 教諭 尾張 あまね

私は、審査のため、以下の点について同意します。

- 1 提出書類は、本審査及び主治医との連絡に用いられること
- 2 福利課担当者及び教職員健康審査会委員が、当該疾患における病状等について主治医と連絡をとること

状 況 報 告 書

学 校 名 津島市立藤小学校

校長氏名 校長 ○ ○ ○ ○

(令和 7 年 8 月 15 日作成)

職 名	教諭	氏 名	尾張 あまね	性 別	女	生年 月 日	平成 元年 7 月 5 日 (36 歳)
1 病 名 右腎う腫瘍 2 休・復職発令予定年月日 令和 7 年 10 月 14 日 3 出勤状況 年次休暇 7 日 療養休暇 90 日 4 事後措置経過							
事 後 措 置		年次休暇		療養休暇			
経過年月日		令和7年7月4日 ～ 令和7年7月15日		令和7年7月16日 ～ 令和7年10月13日			
病 名 等		右腎う腫瘍		右腎う腫瘍			
5 その他参考事項 ・ 7 月 3 日まで出勤していた。 ・ 7 月 4 日に血尿と腹痛を訴え、入院した。 ・ 7 月 15 日検査の結果「右腎う腫瘍」と診断され、手術したが、その後も入院しながら抗がん剤治療や放射線治療を行い、治療が長引く予定である。							

- 備考 1 出勤状況は、年次休暇及び療養休暇の日数を記入する。
2 参考事項欄には発病(受傷)状況、学校における状況、休職歴等を具体的に記載する。
3 記入事項が多い場合は別紙を添付する。

休 職 に 対 す る 意 見 書

1 職・氏名

教諭 尾張 あまね

2 病 名

右腎う腫瘍

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

令和 5 年 4 月に赴任した。令和 5 年度は 3 年生の担任。令和 6 年度と令和 7 年度は 5 年生の担任をしている。

令和 7 年 7 月 4 日、血尿と激しい腹痛を訴えたため、検査入院をした。検査の結果、令和 7 年 7 月 15 日「右腎う腫瘍」と診断され、腎臓全体の摘出手術を行った。今後は術後再発を防ぐため、抗がん剤治療と放射線治療を継続的に実施していく予定である。体力的にも低下しており、起き上がることはできるが、立ち上がったり歩いたりすることは困難である。

現在、療養休暇中であるが、回復には、なお時間が必要であると考えられる。職場復帰をするためにも、治療に専念し、長時間療養することがよいと考えられる。

令和 7 年 8 月 15 日

津島市立藤小学校長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること

休 職 に 対 す る 意 見 書

1 職・氏名

教諭 尾張 あまね

2 病 名

右腎う腫瘍

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

現在上記病名で、手術後も入院治療中であり、今後も放射線治療と化学療法を継続して実施する予定である。現在はベッド上で起き上がるのが精一杯の状況で、勤務は不可能であると考えられる。

学校長意見のとおり、相当であると認める。

令和 7年 8月15日

津島市教育委員会教育長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること

診 断 書（主治医意見書）（その他の疾患用）

ふりがな		性別	男 ・ 女
患者氏名			
生年月日	〇〇 年 月 日（満 歳）		
住 所			
診 断 名			
既 往 歴			
現病歴・経過・検査所見等 （手術をした場合は、施行日及び種類を記載のこと。新生物については、病相、ステージを記載のこと。結核性疾患については、病型及び菌検査結果を記載のこと。）			

治療方針（現在及び今後予定している治療内容、期間等を記載のこと。）
現 症（自他覚症状、検査所見等を記載のこと。）
就労に関する意見 （原則、1日7時間45分勤務の就労の可否について意見を記載のこと。就労可能な場合で特に注意が必要な場合は具体的事項を記載のこと。）
<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 条件付きで可（条件 ） ※就労に影響を与える症状及び薬の副作用 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（ ） <input type="checkbox"/> 現時点では不可（ ヶ月後に再度診察して判断する）
〇〇 年 月 日 医療機関所在地 医 療 機 関 名 診 療 担 当 科 名 医 師 氏 名 電 話 番 号

（注）用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

〔人様式29〕

7 津島教学第〇〇〇号
令和7年 8月25日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の休職について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年 月 日	職 名	氏 名	健康判定の区分	判定年月日	休 職 期 間
7・10・14	(津島市立 藤小学校) 教諭	尾張あまね 1666666	A—1	7・8・16	令和 7・10・14から 令和 8・10・13まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで

(備考) ・判定の年月日は、指示書の年月日とする。
・職名欄の()内には学校名を記入する

〔人様式21〕

審 査 願

令和 8 年 8 月 15 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校

職・氏 名 教諭 尾張あまね

私は、（休職・休職の期間延長・休職の期間更新・復職）したいので、審査をお願いします。

1 休職

休職予定年月日 年 月 日

2 休職期間延長・更新

現休職終了年月日 令和 8 年 10 月 13 日

3 復職

事後措置A1を指示された年月日 年 月 日

休職開始年月日 年 月 日

※ 審査事由（休職・休職の期間更新・休職の延長・復職）に○を付すとともに、該当する事由の年月日を記入すること

主治医連絡に関する同意書

令和 8 年 8 月 15 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校

職・氏 名 教諭 尾張あまね

私は、審査のため、以下の点について同意します。

- 1 提出書類は、本審査及び主治医との連絡に用いられること
- 2 福利課担当者及び教職員健康審査会委員が、当該疾患における病状等について主治医と連絡をとること

〔人様式例20－3〕

8 藤小第〇〇〇号
令和8年 8月 15日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長

休職期間更新審査願について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職・氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名 右腎う腫瘍

〔人様式例20－2〕

8 津島教学第〇〇〇号
令和8年 8月15日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

休職期間延長審査願について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職・氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 病 名 右腎う腫瘍

状 況 報 告 書

学 校 名 津島市立藤小学校

校長氏名 校長 ○ ○ ○ ○

(令和 7 年 8 月 15 日作成)

職 名	教諭	氏 名	尾張 あまね	性 別	女	生年 月 日	平成 元年 7 月 5 日 (36 歳)
1 病 名 右腎う腫瘍 2 休・復職発令予定年月日 令和 7 年 10 月 14 日 3 出勤状況 年次休暇 7 日 療養休暇 90 日 休職 365 日 4 事後措置経過							
事後措置		年次休暇		療養休暇		休職	
経過年月日		令和7年7月5日 ～ 令和7年7月15日		令和7年7月16日 ～ 令和7年10月13日		令和7年10月14日 ～ 令和8年10月13日	
病 名 等		右腎う腫瘍		右腎う腫瘍		右腎う腫瘍	
5 その他参考事項 ・令和7年7月3日まで出勤していた。 ・令和7年7月4日に血尿と腹痛を訴え、入院した。 ・令和7年7月15日検査の結果「右腎う腫瘍」と診断され、手術した。 ・令和7年10月26日退院したが、通院しながら 抗がん剤治療や放射線治療を 続けている ・現在自宅療養中。身の回りのことができるまでに回復したが、授業ができるほどは 回復しておらず、再発の懸念があるため、無理をさせることができない状態にある。							

- 備考 1 出勤状況は、年次休暇及び療養休暇の日数を記入する。
2 参考事項欄には発病(受傷)状況、学校における状況、休職歴等を具体的に記載する。
3 記入事項が多い場合は別紙を添付する。

休職期間更新に対する意見書

1 職・氏名 教諭 尾張 あまね

2 病 名 右腎う腫瘍

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

令和 7 年 7 月 1 5 ~~6~~ 日「右腎う腫瘍」と診断され、腎臓全体の摘出手術を行った。

令和 7 年 1 0 月 1 5 日から令和 8 年 1 0 月 1 4 日まで休職を取得している。

令和 7 年 1 0 月 2 6 日に退院したが、術後の再発を防ぐため、抗ガン剤治療と放射線治療を継続的に実施している。

現在自宅療養中であるが、自力でトイレに行ったりすることはできるが、授業ができるまでには体力が回復していない。

また、再発や転移の可能性があるため、無理をして復帰させることは困難であると考えられる。

令和 8 年 8 月 1 5 日

津島市立藤小学校長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること

休職期間更新に対する意見書

1 職・氏名 教諭 尾張 あまね

2 病 名 右腎う腫瘍

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

令和 7 年 7 月 1 5 日「右腎う腫瘍」と診断され、腎臓全体の摘出手術を行った。

令和 7 年 1 0 月 1 4 日から令和 8 年 1 0 月 1 3 日まで休職を取得している。

令和 7 年 1 0 月 2 6 日に退院したが、術後の再発を防ぐため、抗ガン剤治療と放射線治療を継続的に実施している。

現在自宅療養中であるが、自力でトイレに行ったりすることはできるが、授業ができるまでには体力が回復していない。

また、再発や転移の可能性があるため、無理をして復帰させることは困難であると考えられる。

令和 8 年 8 月 1 5 日

津島市教育委員会教育長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること

8 津島教学第〇〇〇号
令和8年 8月25日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

休職期間の更新について(内申)

下記の者は、令和 8年10月13日で休職期間が満了しますが、別紙事後措置指示書の写しのとおりなお当分の間休養が必要と認められますから、休職期間を更新してください。

記

職 名	氏 名	休 職 期 間	更 新 休 職 期 間	休 職 事 由
教諭	尾張 あまね	7・10・14から 8・10・13まで	8・10・14から 9・10・13まで	右腎う腫瘍
		・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	
		・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	

8 津島教学第〇〇〇号

令和 9年 1月10日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の退職について（内申）

津島市立藤小学校教諭 尾張 あまねが 別紙のとおり退職を願いましたので、調査したところ事情やむをえないものと認められますから、令和 9年 3月31日付で発令してください。

（備考） 校長、教頭の場合は、上記様式に準ずること。

退 職 願

令和 9 年 1 月 1 0 日

愛知県教育委員会 殿

所属 津島市立藤小学校

職名 教諭

氏名 尾張 あまね

下記の理由により、令和 9 年 3 月 3 1 日付けで退職したいので承認してください。

記

令和7年7月15日「右腎う腫瘍」と診断され、腎臓全体の摘出手術を行なった。
令和7年10月14日から休職していたが、なかなか体調が回復しないので、治療に専念すべく、退職をお願いしたい。

本人が全て自筆する

〔人様式41〕

退 職 者 調 書

職 名	教諭		
氏 名	尾張 あまね		
生 年 月 日 (年 令)	平成 元年 7 月 5 日 (37 歳)		
給 料	2 級 6 0 号給	同 左 支 給 年 月 日	令和7年 4 月 1 日
退 職 事 由	自己都合		
勤 続 期 間	令和 元年 4 月 1 日から (9 年 月) 令和 9 年 3 月 3 1 日まで		
現任校勤務期間	令和 5 年 4 月 1 日から (4 年 月) 令和 9 年 3 月 3 1 日まで		
退 職 後 の 身 の ふ り 方	治療に専念する		

令和 9 年 1 月 1 0 日

津島市立藤小学校長
調書作成者 職氏名 ○ ○ ○ ○

(備考) この調書は、校長の場合にあっては所管の市町村教育委員会教育長が、その他の職員にあっては所属の校長が作成するものとする。

3 精神性疾患による療休・休職の場合

精神性疾患の場合

療養休暇について

医師の診断書(様式は医師の任意書式)によって療養休暇を承認する。療養休暇は最長 90 日まで認められる。療養休暇が 1 ヶ月以上わたる場合は「長期療養休暇者について(報告)(服様式 3)」を提出する。1 ヶ月以上の療養休暇後に職場復帰する場合には「長期療養休暇終了について(報告)(服様式 4)」を提出する。

休職について

療養休暇 90 日経過後に引き続き長期の療養を要する場合は、休職発令予定日の 50 日前をめぐりに休職審査の手続きをする。この場合の診断書は「精神性疾患用(人様式 24-2)」を用いること。審査会から A1 の事後措置を指示されたら休職の内申をする。

なお、休職に入る場合も・期間更新する場合も・復職する場合のいずれも「まずは審査を受け → 事後措置の指示に従って内申をする」という流れを取る。したがってある程度の日数を見込んで処理を進めたい。

精神性疾患は特に長期間を要するので休職期間は診断書の期間にかかわらず 1 年単位で内申(更新)をする。休職期間が満 1 年を経過しても回復しないときは、更にもう 1 年期間更新をする。休職した日から引き続き 3 年を超えない範囲まで休職を更新していくことができる。

(※ 結核は「延長」、それ以外の疾病は「更新」という)

休職が 1 年間認められた後は、その中間時点(6 ヶ月経過時ごと)に観察報告書を提出しなければならない。本人・家族・主治医とは、連絡のみならず定期的に面談・観察をし、記録していくことが不可欠となる。

症状が好転し・本人に復職プログラムを受ける意志があれば、復職プログラムを実施し、職場復帰への足がかりとしていく。

療 休 開 始	休 職 開 始	休 職 2 年 目	休 職 3 年 目	復 職
令和7年		令和8年	令和9年	令和10年
7	10	10	10	10
・	・	・	・	・
17	15	15	15	15
▼ 90日	▼ 1年	▼ 2年	▼ 3年	▼
療養休暇	休 職			休 職 復 職
給料 100%支給	休職（1，2年目） 給料 80% 支給			休職（3年目） 無 給
期末勤勉報告（12月・6月）				
年末調整（7年・8年・9年）	特例計算結果報告（共済掛金）			
長期療養者 報告	精神疾患休職6ヶ月後報告			
傷病手当金請求				
掛金振込報告 本人が掛金振込				

精神性疾患による休職の事例
(療養休暇→休職→休職更新→復職の場合)

学校名 津島市立藤小学校
職員名 教諭 尾張あまね
初診 令和 7年 3月 8日
診断名 抑うつ状態

経緯 令和 7年7月11日、体調不良で年次休暇
令和 7年7月14～16日、体調不良で年次休暇
令和 7年7月17日付けで「病名は自律神経失調症、10月末日までの療養加療が必要」との診断書が発行される。
＝療養休暇開始
令和 7年8月9日付けで「病名は抑うつ状態、休職が望ましい」との診断書(精神性疾患用)が発行される。
令和 7年8月12日、休職審査願を提出。
令和 7年8月下旬、事後措置指示書「A1」の文書を受け取る。
令和 7年9月上旬、休職内申を提出する。
令和 7年10月15日(水) 休職開始
令和 8年10月14日(水) 1年目休職終了
令和 8年10月15日(木) 2年目休職更新
令和 9年 5月中旬 復職を目指して復職プログラムを実施。
令和 9年 7月下旬、復職審査願を作成して提出する。
令和 9年 8月下旬、事後措置指示書「B1」の文書を受け取る。
令和 9年 8月下旬、復職内申を作成して提出する。
令和 9年10月15日、復職。

療養休暇・休職補充職員 臨時的任用講師 津島イチロー
生年月日 平成 6年 1月 6日

〔人様式例20－1〕

7 藤小第〇〇〇号
令和7年8月12日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長

休職審査願について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名 津島市立藤小学校

2 職・氏名 教諭 尾張 あまね 166666

3 病 名 抑うつ状態

〔人様式例 20－1〕

7 津島教学第△△△△号
令和 7 年 8 月 1 2 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会教育長

休 職 審 査 願 に つ い て

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名

津島市立藤小学校

2 職・氏名

教諭 尾張あまね 1 6 6 6 6 6

3 病 名

抑うつ状態

〔人様式 2 1〕

審 査 願

令和 7 年 8 月 1 2 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 尾張 あまね

私は、☐休職・休職の期間延長・休職の期間更新・復職) したいので、審査をお願いします。

- 1 休職
休職予定年月日 令和 7 年 1 0 月 1 5 日
- 2 休職期間延長・更新
現休職終了年月日 年 月 日
- 3 復職
事後措置 A 1 を指示された年月日 年 月 日
休職開始年月日 年 月 日

※ 審査事由（休職・休職の期間更新・休職の延長・復職）に○を付すとともに、該当する事由の年月日を記入すること

主治医連絡に関する同意書

令和 7 年 8 月 1 2 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 尾張 あまね

私は、審査のため、以下の点について同意します。

- 1 提出書類は、本審査及び主治医との連絡に用いられること
- 2 福利課担当者及び教職員健康審査会委員が、当該疾患における病状等について主治医と連絡をとること

状 況 報 告 書

学 校 名 津島市立藤小学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

(令和7年8月12日作成)

職 名	教諭	氏 名	尾張 あまね	性 別	女	生年 月 日	平成元年3月8日 (36歳)
1 病 名 抑うつ状態 2 休・復職発令予定年月日 令和7年10月15日 3 出勤状況 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <参考> 令和7年度 年次休暇：3日 療養休暇：90日 令和6年度 年次休暇：6日7時間 療養休暇：0日 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 200px;"> 令和7年度に取得したすべての年休の日数を記入する。 (病気以外を含む) </div> </div> 4 事後措置経過							
事後措置	年次休暇	年次休暇	療養休暇				
経過年月日	07.07.12 (1日)	07.07.16～07.07.17 (2日)	07.07.18～07.10.14 (90日)				
病 名 等	体調不良	体調不良	自律神経失調症				
5 その他参考事項 ・6月頃より体のだるさ、疲労感を訴える。 ・7月に入ると前記の症状が重くなり、さらにめまいや不眠の状況が重なる。 ・7月12日体調不良にて年次休暇取得。土日祝日を挟んで7月16、17日も再び体調不良にて年休取得。 ・17日に「自律神経失調症」と診断され、翌18日より療養休暇に入る。							

- 備考 1 出勤状況は、年次休暇及び療養休暇の日数を記入する。
2 参考事項欄には発病(受傷)状況、学校における状況、休職歴等を具体的に記載する。
3 記入事項が多い場合は別紙を添付する。

休 職 に 対 す る 意 見 書

1 職・氏名

教諭 尾張 あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

今年度は5年2組の担任として授業・学級経営など児童の指導に精力的に取り組んできましたが、5月中旬より一部の保護者から度々苦情の電話が入るようになり、6月を迎える頃には苦情が毎日のように来るようになって、体のだるさと疲労感を感じるようになってきたと言っています。

7月に入ると疲労感がより一層強くなり、十分な睡眠と休養を取るように努めたものの、体力・気力が回復せず、さらにめまいと不眠の症状も自覚され、初診時の病名は「自律神経失調症」とのことでした。

現在は10月14日までの療養休暇を承認して養生させていますが、なかなか症状の好転が認められません。精神性疾患用の診断書を提出させたところ「抑うつ状態」との診断でした。

医師の診断では「労務に耐えうるだけのエネルギーが無い」とのことですので、休職もやむを得ないことと思っております。十分に休養された後に、元気に復職されたい、と願います。

令和7年8月12日

津島市立藤小学校長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

休 職 に 対 す る 意 見 書

1 職・氏名

教諭 尾張 あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

医師の診断書に従って加療するのが適当であると認めます。
また所属長の意見どおり、十分の休養後には元気に復職されたいと願います。

令和 7 年 8 月 1 2 日

津島市教育委員会 教育長 ○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

診 断 書（主治医意見書）（精神性疾患）

ふりがな		生年月日	年 月 日（満 歳）				
患者氏名		学 校 名		職 名		性 別	男・女
住 所							
診断名	（ICD-10 分類による診断名を記載してください。）						
既往歴							
発病から初診までの症状及び経過							
初診時所見（初診日： 年 月 日）							
現在の状態（休職及び期間更新時は、治療開始による改善点や残存している問題点をご記入ください。）							
<p>現在の治療内容</p> <p>（1）投薬内容（薬剤名と処方量を記載してください。）</p> <p>（2）精神療法（具体的な内容について記載してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知行動療法 回/ 週・月（いつから ）（医師・臨床心理士・看護師・その他） ・支持的精神療法 回/ 週・月（いつから ）（医師・臨床心理士・看護師・その他） ・集団精神療法 回/ 週・月（いつから ） ・その他（ ）回/ 週・月（いつから ） 							
<p>就労に関する意見</p> <p><input type="checkbox"/>7時間45分の就労可（職務の健康への影響は見込まれない）</p> <p><input type="checkbox"/>条件つきで可（就労上の措置 があれば可能）</p> <p><input type="checkbox"/>現時点では不可（療養の継続が望ましい）</p> <p>就労可の場合の配慮事項</p> <p><input type="checkbox"/>長時間労働及び特殊勤務の禁止（超過勤務・休日勤務・宿日直勤務・深夜勤務・出張）</p> <p><input type="checkbox"/>勤務時間の制限 <input type="checkbox"/>業務量の軽減 <input type="checkbox"/>車の運転</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>							
<p>職場から本人に連絡する場合の留意事項（該当するものに☑をつけてください）</p> <p><input type="checkbox"/>本人に直接連絡してもよい。 <input type="checkbox"/>家族（配偶者・親・親族）を介して連絡をしてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/>主治医を介して連絡をしてほしい。 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>							
<p>上記のとおり、診断し、就労の可否に関する意見書を提出します。</p> <p>年 月 日 医療機関所在地</p> <p>医 療 機 関 名</p> <p>担 当 診 療 科 名</p> <p>医 師 氏 名</p> <p>電 話 番 号</p>							

〔人様式29〕

7 津島教学第△△△△号
令和 7 年 9 月 1 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の休職について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年月日	職 名	氏 名	健康判定 の 区 分	判 定 年月日	休 職 期 間
R07. 10. 15	(津島市立藤小学校 60000) 教 諭	尾張 あまね 1666666	A 1	R07. 08. 27	07・10・15 から 08・10・14 まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで

(備考) ・判定の年月日は、指示書の年月日とする。
・職名欄の () 内には学校名を記入する

<p style="text-align: center;">観 察 報 告 書（精神性疾患休職後6ヶ月、校長記入）</p> <p style="text-align: right;">令和8年4月14日</p> <p>愛知県教育委員会 殿</p> <p style="text-align: right;">学校名 津島市立藤小学校 校長名 ○○ ○○</p> <p>下記のとおり、休職中の職員の状況を報告します。</p> <p style="text-align: center;">記</p>				
所 属 名	津島市立藤小学校		担当教科	小学校全科
職・氏名	教諭 尾張あまね 男・ <u>女</u>		生年月日	平成元年3月8日 (37歳)
休職開始年月日 (休職期間更新日)	令和7年10月15日(1年目)		診断名	抑うつ状態
職員との面談等	第1回	実施日 令和7年11月20日		実施者 校長 ○○ ○○
		状況把握方法	面談(場所: 職員宅)・電話・メール・その他()	
	第2回	実施日 令和8年1月10日		実施者 校長 ○○ ○○
		状況把握方法	面談(場所: 職員宅)・電話・メール・その他()	
6か月前から現在に至る経過及び状態		<p style="text-align: center;">詳細別紙参照（この欄には収まりきれない場合） （本人・家族・主治医等との連絡・面談をした実績を、時系列に書き記したものを、別紙として添付する）</p>		
家庭・家族の環境		<p style="text-align: center;">家族構成は…… 夫は教員…… 2歳の長女…… 閑静な住宅街…… 一戸建て……</p>		
主治医と校長との連絡状況及び内容		<p style="text-align: center;">○月○日、主治医・本人・教頭の三者で面談をした。 現在の△△という薬は緩やかに……</p>		
校長意見 (職員との面談等状況や今後の見通し等に沿って記入する)		<p style="text-align: center;">本人面談をしてもほとんど活力というものを感じ取ることができず…… ……長期的な視野に立つての治療が必要だと感じる。</p>		

注意：作成にあたり、休職当初から本人や主治医との連絡を実施した上で記入してください。
 （本人が病状不安定などで、接触がむずかしい場合は、主治医に相談の上対応してください。）
 用紙内に書ききれない場合は、省略せずに別紙に記入して添付してください。

医 療 状 況 報 告 書 （精神性疾患休職及び休職期間更新後 6 か月後）

所属名	津島市立藤小学校	職名	教諭	性別	男 ・ ②
氏 名	尾張 あまね	生年 月 日	平成元年 3 月 8 日	年 齢	37

診 断 名	(ICD-10 分類による診断名を記載してください。)	
6 か月前から 現在に至る経 過及び症状		
治療状況	通院頻度	
	投薬内容、 精神療法等	
治療による改善 点や残存してい る問題点		
今後の病気や就 労の見通しに関 する意見		
復職支援プログラ ムに関する意見 (実施予定の場合 のみ記載してくだ さい。)	復職支援プログラム実施の適否(○をつける) : 適 ・ 否	
	実施にあたり職場が配慮すべき事項	
上記のとおり診断いたします。 年 月 日 <div style="text-align: right;"> 医療機関所在地 医 療 機 関 名 (診 療 科 名) 医 師 氏 名 </div>		

※ 太枠の中は本人があらかじめ記載してください。

※ 診断名以下は、主治医に記載を依頼してください。

〔人様式1－1〕

7 津島学教第△△△△号
令和 7 年 9 月 1 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

臨時的任用教員の採用について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年 月 日	学校名	臨 時 的 任 用 教 員							採用事由	
		氏 名	職 名	給 料		任用期間	免許状			性 別
				級	号給		種類	教科		
7 ・ 10 ・ 15	津島市立 藤小学校 60000	津島イチロー 1888888	講師	1		07・10・15から 07・03・31まで	小1種		男	教諭 尾張あまね 166666 休職補充
・ ・						・ から ・ まで				
・ ・						・ から ・ まで				

(備考)産休・育児休業補充は、採用事由欄に、産休・育児休業者の職氏名も記入すること。

〔人様式2－1〕

承 諾 書

令和7年9月1日

愛知県教育委員会 殿

住 所 津島市〇〇町〇〇〇

氏 名 津島 イチロー

平成6年1月6日生

今回臨時的任用教員として採用されるについては、その任用期間は令和7年10月15日から令和8年3月31日までであることを承諾します。

ただし、学校運営上の必要のために、上記の期間内において解任されることがあっても異存ありません。

欠 格 条 項 申 告 書

愛 知 県 教 育 委 員 会 殿

私には、地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当する事実はありません。

令和7年9月1日

氏 名 津島 イチロー

記

地方公務員法第16条（欠格条項）

- 一 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

学校教育法第9条（欠格事由）

- 一 禁錮以上の刑に処せられた者
- 二 教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 三 教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

備考 学校教育法第9条第2項及び第3項の規定は、任用資格として教育職員免許法に規定する免許状を有することとされる場合に限る。

7 津島教学第△△△△号
令和 7 年 9 月 1 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

常勤講師（派遣非常勤講師）措置願について

このことについて別紙のと通りの事情をご推察のうえ、常勤講師（派遣非常勤講師）の措置をお願いします。

記

1 校 名 津島市立藤小学校

2 職 氏名 教諭 尾張あまね

3 病 名※（事由） 抑うつ状態

4 臨時講師措置期間

自	令和 7 年	10 月	15 日
至	令和 8 年	3 月	31 日

5 そ の 他

※（ ）は研修派遣の派遣非常勤講師の場合

〔人様式例13〕

校 長 意 見 書

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職 氏名 教諭 尾張あまね
- 3 診 断 病 名 ※ (事 由) 抑うつ状態
- 4 発病年月日 ※ (研修期間) 令和7年7月17日
- 5 加療施設名 ※ (研修場所) ○○○病院
- 6 加療経過
 - ・ 6月頃より疲労感を訴え診察開始
 - ・ 7月に「自律神経失調症」と診断。(療養休暇取得)
 - ・ 8月に「抑うつ状態」と診断。長期休養をすすめられる
- 7 健康状態の現状
 - ・ 極度の疲労感とめまい、不眠状態が続いている。
- 8 勤務に対する状況
 - ・ とても正常に勤務できる状況ではないと思われる。
- 9 学校運営上の問題点
 - ・ 5年2組を担当するための補充職員が必要と考える。

令和7年9月1日

職 氏名 津島市立藤小学校長
○ ○ ○ ○

※ () は派遣非常勤講師で研修派遣の場合、この場合6～8不要

〔人様式 2 1〕

審 査 願

令和 8 年 7 月 2 1 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 尾張 あまね

私は、(休職・休職の期間延長・休職の期間更新・復職)したいので、審査をお願いします。

- 1 休職
休職予定年月日 年 月 日
- 2 休職期間延長・更新
現休職終了年月日 令和 8 年 1 0 月 1 4 日
- 3 復職
事後措置 A 1 を指示された年月日 年 月 日
休職開始年月日 年 月 日

※ 審査事由(休職・休職の期間更新・休職の延長・復職)に○を付すとともに、該当する事由の年月日を記入すること

主治医連絡に関する同意書

令和 8 年 7 月 2 1 日

愛知県教育委員会殿

所属学校名 津島市立藤小学校
職・氏 名 尾張 あまね

私は、審査のため、以下の点について同意します。

- 1 提出書類は、本審査及び主治医との連絡に用いられること
- 2 福利課担当者及び教職員健康審査会委員が、当該疾患における病状等について主治医と連絡をとること

〔人様式例 20－3〕

8 藤小発第〇〇〇号
令和 8 年 7 月 21 日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長

休職期間更新審査願 について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名

津島市立藤小学校

2 職・氏名

教諭 尾張 あまね 1 6 6 6 6 6 6

3 病 名

抑うつ状態

〔人様式例 20－3〕

8 津島教学第△△△△号
令和 8 年 7 月 21 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会 教育長

休職期間更新審査願 について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名

津島市立藤小学校

2 職・氏名

教諭 尾張 あまね 16666666

3 病 名

抑うつ状態

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

休職期間の更新について(内申)

下記の者は、令和 8 年 1 0 月 1 4 日で休職期間が満了しますが、別紙事後措置指示書の写しのとおりなお当分の間休養が必要と認められますから、休職期間を更新してください。

記

職 名	氏 名	休 職 期 間	更 新 休 職 期 間	休 職 事 由
教 諭	尾張 あまね 1666666	07・10・15 から 08・10・14 まで	08・10・15 から 09・10・14 まで	抑うつ状態
		・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	
		・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	

休職期間更新に対する意見書

1 職・氏名

教諭 尾張あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

令和7年度は5年2組の担任として授業・学級経営など児童の指導に精力的に取り組んできましたが、令和7年5月の中旬から一部の保護者から苦情や意見が毎日のように来るようになり、体のだるさと疲労感を感じるようになったと言っていました。

令和7年7月になってからは疲労感がより一層強くなり、十分な睡眠と休養を取るよう努めたものの、体力・気力が回復せず、さらにめまいと不眠の症状も自覚され、初診時の病名は「自律神経失調症」とのことでした。

令和7年7月下旬より10月14日までの療養休暇を承認して養生させていましたが、なかなか症状の好転が認められませんでした。精神性疾患用の診断書を提出させたところ「抑うつ状態」との診断でした。

医師の診断では「労務に耐えうるだけのエネルギーが無い」とのことと、8月に「A1」の事後措置が指示され、令和7年10月15日から休職しています。

休職後は、機会を捉えて本人と面会をし、定期的に電話での連絡を取るようになっています。発症からもうすぐ一年が経過しようとしています。当初は全く休職前の状況と変わっていなかったものの、定期的に医師の診断を受けつつ養生を重ねています。しかしながらまだ現場復帰に耐えうる程の病状回復は認められません。

本人も現場復帰に向けた行動を考えるには至らず、復職にはまだ長期的な時間が必要なものと考えます。

今しばらくの猶予をいただき、十分な休養をされた後に、元気に復職されたいと願います。

令和8年8月18日

津島市立藤小学校長

○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

〔人様式例 2 2－3〕

休職期間更新に対する意見書

1 職・氏名

教諭 尾張あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

医師の診断書に従って加療を継続するのが適当であると認めます。
また、所属長の意見どおり、休養後には元気に復職されたいと願います。

令和8年8月18日

津島市教育委員会教育長

○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

診 断 書 (主治医意見書) (精神性疾患)

ふりがな		生年月日	〇〇	年	月	日 (満	歳)
患者氏名		学 校 名		職 名		性 別	男・女
住 所							
診断名	(ICD-10 分類による診断名を記載してください。)						
既往歴							
発病から初診までの症状及び経過							
初診時所見 (初診日: 〇〇 年 月 日)							
現在の状態 (休職及び期間更新時は、治療開始による改善点や残存している問題点をご記入ください。)							
<p>現在の治療内容</p> <p>(1) 投薬内容 (薬剤名と処方量を記載してください。)</p> <p>(2) 精神療法 (具体的な内容について記載してください。)</p> <p>・認知行動療法 回/ 週・月 (いつから) (医師・臨床心理士・看護師・その他)</p> <p>・支持的精神療法 回/ 週・月 (いつから) (医師・臨床心理士・看護師・その他)</p> <p>・集団精神療法 回/ 週・月 (いつから)</p> <p>・その他 () 回/ 週・月 (いつから)</p>							
<p>就労に関する意見</p> <p><input type="checkbox"/> 7 時間 45 分の就労可 (職務の健康への影響は見込まれない)</p> <p><input type="checkbox"/> 条件つきで可 (就労上の措置) があれば可能)</p> <p><input type="checkbox"/> 現時点では不可 (療養の継続が望ましい)</p> <p>就労可の場合の配慮事項</p> <p><input type="checkbox"/> 長時間労働及び特殊勤務の禁止 (超過勤務・休日勤務・宿日直勤務・深夜勤務・出張)</p> <p><input type="checkbox"/> 勤務時間の制限 <input type="checkbox"/> 業務量の軽減 <input type="checkbox"/> 車の運転</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>							
<p>職場から本人に連絡する場合の留意事項 (該当するものに☑をつけてください)</p> <p><input type="checkbox"/> 本人に直接連絡してもよい。 <input type="checkbox"/> 家族 (配偶者・親・親族) を介して連絡をしてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 主治医を介して連絡をしてほしい。 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>							
<p>上記のとおり、診断し、就労の可否に関する意見書を提出します。</p> <p>〇〇 年 月 日 医療機関所在地</p> <p>医 療 機 関 名</p> <p>担 当 診 療 科 名</p> <p>医 師 氏 名</p> <p>電 話 番 号</p>							

8 津島教学第〇〇〇号
令和 8 年 9 月 1 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

臨時的任用教員の任用期間更新(延長)について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発令年月日	学校名	臨 時 的 任 用 教 員					更新(延長)事由	
		氏 名	職名	給 料		任用期間		更新(延長)期間
				級	号給			
08 ・ 10 ・ 15	津島市立 藤小学校	津島イチロー 1888888	講師	1		08・04・01から 08・10・14まで	08・10・15から 09・03・31まで	教諭 尾張あまね 1777777 休職更新のため
・ ・						・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	
・ ・						・ ・ から ・ ・ まで	・ ・ から ・ ・ まで	

〔人様式9－2〕

承 諾 書

8年 9月 1日

愛知県教育委員会 殿

住 所 〇〇市〇〇町〇〇〇

氏 名 津島 イチロー

平成 6年 1月 6日生

今回臨時的任用教員としての任用期間を更新(延長)されるについては、その更新(延長)期間は、令和 8年10月15日から令和 9年 3月31日までであることを承諾します。

ただし、学校運営上の必要のために、上記の期間内において解任されることがあっても異存ありません。

欠 格 条 項 申 告 書

愛 知 県 教 育 委 員 会 殿

私には、地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当する事実はありません。

令和 8 年 9 月 1 日

氏 名 津島イチロー

記

地方公務員法第16条（欠格条項）

- 一 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第五章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

学校教育法第9条（欠格事由）

- 一 禁錮以上の刑に処せられた者
- 二 教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者
- 三 教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

備考 学校教育法第9条第2項及び第3項の規定は、任用資格として教育職員免許法に規定する免許状を有することとされる場合に限る。

〔人様式例 13〕

校 長 意 見 書

- 1 校 名 津島市立藤小学校
- 2 職 氏名 教諭 尾張あまね
- 3 診 断 病 名 ※ (事 由) 抑うつ状態
- 4 発病年月日 ※ (研修期間) 令和 7 年 7 月 17 日
- 5 加療施設名 ※ (研修場所) ○○○病院
- 6 加療経過
 - ・ 6 年 7 月に「自律神経失調症」と診断。療養休暇取得
 - ・ 7 年 8 月に「抑うつ状態」と診断。10月15日より休職
- 7 健康状態の現状
 - ・ 休職当初は極度の疲労感とめまい、不眠状態が続いていたが、最近もまだまだ改善の傾向はみられない。
- 8 勤務に対する状況
 - ・ 正常に勤務出来る状態に戻るには、まだまだ時間が必要と考える。
- 9 学校運営上の問題点
 - ・ 引き続き学級担任を担う補充職員が必要と考える。

令和 7 年 9 月 1 日

職 氏名 津島市立藤小学校長
○ ○ ○ ○

※ () は派遣非常勤講師で研修派遣の場合、この場合 6 ～ 8 不要

復職支援プログラム実施申出書

令和 9 年 4 月 26 日

津島市立藤小学校長 殿

職 氏名 教諭 尾張 あまね

私は、復職支援プログラムの実施を希望しますので、復職支援プログラム実施要項に基づき申し出ます。

復職支援プログラム実施に関する同意書

令和 9 年 4 月 26 日

津島市立藤小学校長 殿

職 氏名 教諭 尾張 あまね

私は、復職支援プログラムの実施にあたり、下記事項に同意します。

記

- 1 復職支援プログラムは、休職中に円滑な職場復帰を図るために実施するものであり、正式の勤務ではないことから、休職中に支給される給与以外は、いかなる給与も支給されないこと。
- 2 復職支援プログラム中の事故（職場への往復時を含む。次項において同じ。）は、地方公務員災害補償法（昭和 42 年法律第 121 号）による補償の対象外であり、被災しても同法に基づく補償は受けられないこと。
- 3 復職支援プログラム実施中の災害等の補償を目的とする保険制度に、私を被保険者及び保険金受取人とし、愛知県教育委員会が保険料を負担して 加入すること。
- 4 復職支援プログラム実施中は、主治医の指示により対処し、職場において校長の監督指示に従うこと。
- 5 復職支援プログラムに関して、愛知県教育委員会福利課担当者又は校長（校長から委任を受けた者を含む。）が主治医へ私の病状等の情報提供を求めること及び主治医がそれに応じて情報提供すること。

様式 2

診 断 書

ふりがな 氏 名	男 女	生 年 月 日	年 月 日 (歳)
診 断 名	(※ICD-10 による診断名)		
発病以来の 症状及び経過			
現在の病状	(通院頻度) (治療・服薬内容)		
復職支援 プログラム 実施の適否			
復職支援プロ グラム実施に あたり職場が 配慮する事項			
<p>上記のとおり診断いたします。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">医療機関名 所在地 医師氏名</p>			

※診断名については、ICD-10(国際疾病分類第 10 版)によるものを併記してください。

様式 3 - 1

復職支援プログラム実施計画書

- 1 学 校 名 津島市立藤小学校
- 2 対象教職員 職氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 休 職 期 間 令和 7 年 1 0 月 1 5 日 ～ 令和 9 年 1 0 月 1 4 日
(休職期間満了予定日)
- 4 復 職 予 定 日 令和 9 年 1 0 月 1 5 日
- 5 実 施 期 間 令和 9 年 5 月 1 7 日(月)～ 9 年 8 月 1 3 日(金)
実施予定日数計 61 日間
- 6 監 督 者 職 氏 名 校長 ○○ ○○
- 7 担 当 者 職 氏 名 教頭 ○○ ○○ 電話番号 0 5 6 7 - 0 0 - 0 0 0 0

復職支援プログラム実施に対する主治医意見(主治医連絡で聴取した内容等)

別紙診断書参照 (←診断書(様式 2)を提出する場合)

あるいは

(主治医の意見が記されている場合は、診断書(様式 2)を省略できる)

復職支援プログラム実施に対する校長意見

主治医より現場の空気に触れても精神的に耐えうるであろうとの診断である。
復職プログラムの実施は妥当と考える。

<その他参考となる事項>

復職支援プログラム実施計画について

- ・復職支援プログラム実施期間は基本3カ月＋延長2カ月の最長5カ月とする。
- ・復職審査書類の提出日は復職予定日の2カ月前とする。
- ・復職審査書類提出日までに、少なくとも2週間（1カ月程度）のフルタイム勤務を実施する。
- ・復職予定日2カ月前からは復職後と同様の業務内容で実施し、復職予定日前日まで継続する。

復職支援プログラム実施計画

	年月日(曜)	時 間	プログラムの内容
第1週	09.05.17(月) 09.05.19(水) 09.05.21(金)	8:20～10:20	○2時間程度の作業 ・顔合わせ、あいさつ、校内施設確認 ・校内施設点検、図書の整理、教材研究 ・管理職との面接
第2週	09.05.24(月) 09.05.25(火) 09.05.26(水) 09.05.27(木) 09.05.28(金)	8:20～11:20	○3時間程度の作業 ・学級事務の手伝い、教材研究 ・授業補助（2時間） ・管理職との面接
第3週	09.05.31(月) 09.06.01(火) 09.06.02(水) 09.06.03(木) 09.06.04(金)	8:20～12:20	○4時間程度の作業 ・朝の会への参加 ・学級事務の手伝い ・T2として授業参加（3時間） ・管理職との面接
第4週	09.06.07(月) 09.06.08(火) 09.06.09(水) 09.06.10(木) 09.06.11(金)	8:20～13:20	○5時間程度の作業 ・朝の会への参加 ・学級事務の手伝い ・T2として授業参加（4時間） ・管理職との面接
第5週	09.06.14(月) 09.06.15(火) 09.06.16(水) 09.06.17(木) 09.06.18(金)	8:20～14:20	○6時間程度の作業 ・朝の会への参加 ・T1として授業実施（2時間） ・T2として授業参加（3時間） ・管理職との面接

第 6 ～ 7 週	09. 06. 21(月) ～ 09. 07. 02(金)	8:20～16:50	○通常時間勤務（7時間45分） ・朝の会への参加 ・T1として授業実施（5時間） ・管理職との面接
第 8 週	09. 07. 05(月) 09. 07. 06(火) 09. 07. 07(水) 09. 07. 08(木) 09. 07. 09(金)	8:20～16:50	○通常時間勤務（7時間45分） ・2年生の学級担任として業務実施 ・管理職との面接

7/23 頃復職審査、復職支援プログラム延長書類提出

第 13 週	09. 08. 09(月) 09. 08. 10(火) 09. 08. 11(水) 09. 08. 12(木) 09. 08. 13(金)	8:20～16:50	○通常時間勤務（7時間45分） ・2年生の学級担任として業務実施 ・管理職との面接

※実施予定日を1日ずつ記載してください。

復職支援プログラム実施（延長）計画書

- 1 学 校 名 津島市立藤小学校
- 2 対象教職員 職氏名 教諭 尾張 あまね
- 3 休 職 期 間 令和 7 年 1 0 月 1 5 日 ～ 令和 9 年 1 0 月 1 4 日
(休職期間満了予定日)
- 4 復 職 予 定 日 令和 9 年 1 0 月 1 5 日
- 5 実 施 期 間 令和 9 年 5 月 1 7 日(月)～9 年 1 0 月 1 4 日(木)

実施予定日数計 1 0 5 日間

- 6 監 督 者 職 氏 名 校長 ○○ ○○
- 7 担 当 者 職 氏 名 教頭 ○○ ○○ 電話番号 0 5 6 7 - 0 0 - 0 0 0 0

復職支援プログラム実施（延長）に対する主治医意見(主治医連絡で聴取した内容等)

別紙診断書参照 (←診断書(様式2)を提出する場合)

あるいは

(主治医の意見が記されている場合は、診断書(様式2)を省略できる)

復職支援プログラム実施（延長）に対する校長意見

主治医より現場の空気に触れても精神的に耐えうるであろうとの診断である。
復職プログラムの実施は妥当と考える。

<その他参考となる事項>

復職支援プログラム実施計画

	年月日(曜)	時 間	プログラムの内容
第 1 週	09.05.17(月) 09.05.19(水) 09.05.21(金)	8:20～10:20	○2時間程度の作業 ・顔合わせ、あいさつ、校内施設確認 ・校内施設点検、図書の整理、教材研究 ・管理職との面接

7/23 頃復職審査、復職支援プログラム延長書類提出

第 1 3 週	09.08.09(月) 09.08.10(火) 09.08.11(水) 09.08.12(木) 09.08.13(金)	8:20～16:50	○通常時間勤務（7時間45分） ・2年生の学級担任として業務実施 ・管理職との面接

8/27 頃復職内申書類提出

第 2 2 週	09.10.11(月) 09.10.12(火) 09.10.13(水) 09.10.14(木)	8:20～16:50	○通常時間勤務（7時間45分） ・2年生の学級担任として業務実施 ・管理職との面接

※実施予定日を1日ずつ記載してください。

様式 4

復職支援プログラム中止申出書

令和 8 年 6 月 5 日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長
○ ○ ○ ○

令和 9 年 4 月 28 日付けで承認を受けました復職支援プログラムの実施に下記の理由が生じたので、復職支援プログラム実施計画書及びその記録を添付し、復職支援プログラムの中止を申し出ます。

記

職 氏名	教諭 尾張 あまね
プログラム 実施期間	9 年 5 月 17 日(月) ～ 9 年 8 月 13 日(金) 実施日数計 <u>61</u> 日
病 名	抑うつ状態
プログラム 中止理由	本人の病状が悪化し、実施の継続が困難と思われるため (別添実施記録を参照)

復職支援プログラム中間報告書

令和 9 年 7 月 23 日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長
○ ○ ○ ○

令和 9 年 4 月 28 日付けで承認を受けました復職支援プログラムについて、その計画書及びその記録を添付し、下記のとおり報告します。

記	
職 氏名	教諭 尾張 あまね
プログラム 実施期間	令和 9 年 5 月 17 日(月)～ 9 年 8 月 13 日(金) 実施日数計 61 日
	令和 9 年 5 月 17 日(月)～ 9 年 7 月 23 日(金) 実施日数計 47 日
病 名	抑うつ状態
プログラム期間 の本人の状況※	実施期間中、予定時刻の 15 分前に出校している。生活リズムはしっかりしている。身だしなみは清潔でこざっぱりしている点には変わりはない。几帳面な性格は変わらないが、冗談を多く言うようになった。児童へも「おはよう」「さようなら」と自分から声を掛けることができた。学校外で趣味を通じての友人が増えたのも、対人間関係の好転に影響したようだ。仕事に対しては熱心なためについつい時を忘れてのめり込むこともあるが、その遂行能力は高い。むしろ心地よい疲労感によってぐっすり眠ることができ、以前のように不眠で悩まされることは無いと言う。無遅刻・無欠勤でプログラムを完遂できた。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。
プログラム中間報告 での学校長の意見	以前の症状はほとんど見られなくなっている。今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、回復に向かっている。引き続き様子を見ていきたい。
プログラム中間報告 での主治医の意見	

※プログラム期間の本人の状況については、以下の事項を記入してください。

- ①基本的な生活状況（生活リズム・身だしなみ等）
- ②他人との交流状況（同僚職員との関係・児童生徒との関係等）
- ③精神的な活動状況（業務への関心・復職への意欲）
- ④本人からの訴え（身体面の疲労・精神面の疲労等）
- ⑤業務実施状況（教科指導・児童生徒指導・学級運営等）
- ⑥その他

復職支援プログラム終了報告書

令和 9 年 10 月 15 日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長
○ ○ ○ ○

令和 9 年 4 月 28 日付けで承認を受けました復職支援プログラムが終了しましたので、その計画書及びその記録を添付し、下記のとおり報告します。

記	
職 氏名	教諭 尾張 あまね
プログラム 実施期間	令和 9 年 5 月 17 日(月)～ 9 年 10 月 14 日 (金) 実施日数計 105 日
病 名	抑うつ状態
プログラム期間 の本人の状況	全期間を通して予定時刻の 15 分前に出校した。生活リズムはしっかりしている。身だしなみは清潔でこざっぱりしている点には変わりはない。几帳面な性格は変わらないが、冗談を多く言うようになった。児童へも「おはよう」「さようなら」と自分から声を掛けることができた。学校外で趣味を通じての友人が増えたのも、対人間関係の好転に影響したようだ。仕事に対しては熱心なためについつい時を忘れてのめり込むこともあるが、その遂行能力は高い。むしろ心地よい疲労感によってぐっすり眠ることができ、以前のように不眠で悩まされることは無いと言う。無遅刻・無欠勤でプログラムを完遂できた。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。
プログラムを終えて の学校長の意見	以前の症状はほとんど見られなくなっている。今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、プログラムを最後まで完了できたので、復職は十分に可能であると判断する。なによりも本人の復職意欲が強い点に期待したい。
プログラムを終えて の主治医の意見	

※プログラム期間の本人の状況については、以下の事項を記入してください。

- ①基本的な生活状況（生活リズム・身だしなみ等）
- ②他人との交流状況（同僚職員との関係・児童生徒との関係等）
- ③精神的な活動状況（業務への関心・復職への意欲）
- ④本人からの訴え（身体面の疲労・精神面の疲労等）
- ⑤業務実施状況（教科指導・児童生徒指導・学級運営等）
- ⑥その他

復職支援プログラム実施記録

年月日(曜)	年月日(曜)	時 間	プログラムの 内容	観察記録
第1週	09.05.11 (月) 09.05.12 (火) 09.05.13 (水) 09.05.14 (木) 09.05.15 (金)	8:20~10:20	顔合わせ あいさつ 校内施設確認 校内施設点検 図書の整理 教材研究	初日は予定時刻より15分前に到着した。校長・教頭・各主任などに「よろしくお願いします」と挨拶できた。他校で同僚だった職員とも懐かしそうに会話できた。校舎内を懐かしそうに散策していた。 図書管理システムによる作業は、不慣れな作業のためか「肩が凝った」と言っていた。なお入力ミスは無かった。
第2週	09.05.18 (月) 09.05.19 (火) 09.05.20 (水) 09.05.21 (木) 09.05.22 (金)	8:20~10:20	授業見学 図書の整理 教材研究 花壇整備	出校時刻は毎日15分前。生活のリズムはできつつある。 3年4組の授業を見学の際は戸惑うことなく教室へ入れた。子供とのコミュニケーションも少しずつだが取る様子が見られた。 図書管理システムによる作業は、前週より集中してスムーズに行うことができた。
第3週	09.05.25 (月) 09.05.26 (火) 09.05.27 (水) 09.05.28 (木)	13:30~16:30	学級活動を担任とともに ティームティーチング(各教科、計2時間程度) 教材研究 花壇整備	算数の割り算について、打ち合わせのと通りの役割分担でティームティーチングの授業を執り行うことができた。 もう一人の教諭と自分との位置取りに細心の注意を払っていることがうかがえる。

第6週	09.06.15 (月) 09.06.16 (火) 09.06.17 (水) 09.06.18 (木)	8:20~16:50	学級活動を主導する 単独授業(4時間程度) 教材研究	授業中の児童への指示ははっきりしている。 落ち着きのない子の掌握に先週とは違う工夫が見られた。自習クラスの監督もそつなくできた。
-----	--	------------	----------------------------------	---

〔人様式27〕

復 職 審 査 願

令和 9年 7月23日

愛知県教育委員会 殿

所属学校名 津島市立藤小学校

職・氏 名 教諭 尾張あまね

私は令和 7年8月26日A1の事後措置を指示されて、令和 7年10月15日から休職中ですが、復職審査をお願いします。

主治医連絡に関する同意書

令和 9年 7月23日

愛知県教育委員会 殿

所属学校名 津島市立藤小学校

職・氏 名 教諭 尾張あまね

私は、復職審査のために、本疾患における私の主治医と愛知県教育委員会福利課職員が病状についての連絡をとることについて同意します。

（注）学校名及び職・氏名は、本人の自筆で記入すること。

〔人様式例 20－4〕

9 藤小発〇〇〇号
令和 9 年 7 月 23 日

愛知県教育委員会 殿

津島市立藤小学校長

復職審査願 について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名

津島市立藤小学校

2 職・氏名

教諭 尾張あまね 1 7 7 7 7 7 7

3 病 名

抑うつ状態

〔人様式例 20－1〕

9 津島教学第〇〇〇〇号
令和 9 年 7 月 23 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会 教育長

復職審査願 について

このことについて、下記の者の審査をお願いします。

記

1 校 名

津島市立藤小学校

2 職・氏名

教諭 尾張あまね 1 7 7 7 7 7 7

3 病 名

抑うつ状態

復職に対する意見書

1 職・氏名

教諭 尾張あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

（経過）

令和 7 年 7 月 17 日 「自律神経失調症」で療養休暇 90 日。

令和 7 年 10 月 15 日 「抑うつ状態」で休職開始。

令和 7 年 11 月 14 日 本人と面談 当初の様子に変化はさほど見られず。
人と会うと疲れる、とのこと。

…（中略）

令和 8 年 5 月 8 日 本人・主治医と面談 本人は復職プログラムを希望せず。
主治医からも治療継続のアドバイスを受ける。

令和 8 年 10 月 15 日 休職 2 年目に更新。

令和 9 年 3 月 23 日 主治医・本人と面談 精神的にも体力的にも自信が戻って
いる。復職プログラムを希望。5 月中旬から復職プロ
グラムを開始することで確認。

令和 9 年 5 月 17 日 復職プログラムを開始

（意見）

約 2 ケ月に渡る復職支援プログラムについて、欠勤・早退無しでプログラムを遂行できたことは、復職は十分可能であると判断する。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、復職意欲も強い点に期待し、職場復帰して欲しいと考える。

令和 9 年 7 月 23 日

津島市立藤小学校長

○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

復職に対する意見書

1 職・氏名

教諭 尾張あまね

2 病 名

抑うつ状態

3 意 見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

2年にわたる長期治療の結果、心身ともに安定してきたようである。

5月から2ヶ月間の復職支援プログラムについて学校長の報告を受けたところ、遅刻・欠勤・早退も無く、実施することができた。取り組む姿勢も良好であったとのことである。

本人の意欲、治療の結果、第三者による客観的な観察を統合すれば、順調な回復に至ったと思われる。ぜひ復職を認めていただきたいと考える。

令和 9年 7月23日

津島市教育委員会教育長

○ ○ ○ ○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。

診 断 書（主治医意見書）（精神性疾患）

ふりがな		生年月日	〇〇	年	月	日（満	歳）
患者氏名		学 校 名		職 名		性 別	男・女
住 所							
診断名	(ICD-10 分類による診断名を記載してください。)						
既往歴							
発病から初診までの症状及び経過							
初診時所見（初診日：〇〇 年 月 日）							
現在の状態（休職及び期間更新時は、治療開始による改善点や残存している問題点をご記入ください。）							
<p>現在の治療内容</p> <p>(1) 投薬内容（薬剤名と処方量を記載してください。）</p> <p>(2) 精神療法（具体的な内容について記載してください。）</p> <p>・認知行動療法 回/ 週・月（いつから ）（医師・臨床心理士・看護師・その他）</p> <p>・支持的精神療法 回/ 週・月（いつから ）（医師・臨床心理士・看護師・その他）</p> <p>・集団精神療法 回/ 週・月（いつから ）</p> <p>・その他（ ）回/ 週・月（いつから ）</p>							
<p>就労に関する意見</p> <p><input type="checkbox"/>7時間45分の就労可（職務の健康への影響は見込まれない）</p> <p><input type="checkbox"/>条件つきで可（就労上の措置 があれば可能）</p> <p><input type="checkbox"/>現時点では不可（療養の継続が望ましい）</p> <p>就労可の場合の配慮事項</p> <p><input type="checkbox"/>長時間労働及び特殊勤務の禁止（超過勤務・休日勤務・宿日直勤務・深夜勤務・出張）</p> <p><input type="checkbox"/>勤務時間の制限 <input type="checkbox"/>業務量の軽減 <input type="checkbox"/>車の運転</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>							
<p>職場から本人に連絡する場合の留意事項（該当するものに☑をつけてください）</p> <p><input type="checkbox"/>本人に直接連絡してもよい。 <input type="checkbox"/>家族（配偶者・親・親族）を介して連絡をしてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/>主治医を介して連絡をしてほしい。 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>							
<p>上記のとおり、診断し、就労の可否に関する意見書を提出します。</p> <p>〇〇 年 月 日 医療機関所在地</p> <p>医 療 機 関 名</p> <p>担 当 診 療 科 名</p> <p>医 師 氏 名</p> <p>電 話 番 号</p>							

状 況 報 告 書

学 校 名 津島市立藤小学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

(令和 9年 7月 23日作成)

職 名	教諭	氏 名	尾張 あまね	性 別	女	生年 月 日	平成 元年 3月 8日 (37歳)
1 病 名 抑うつ状態 2 復職発令予定年月日 令和 9年 10月 15日 3 出勤状況 令和 9年度 休 職 : 287日 令和 8年度 休 職 : 365日 令和 7年度 休 職 : 78日 療養休暇 : 90日 年次休暇 : 4日 4 事後措置経過							
事後措置		年次休暇		療養休暇		休 職	
経過年月日		07.07.11～07.07.16 (4日)		07.07.17～07.10.14 (90日)		07.10.15～09.10.14 (730日)	
病 名 等		体調不良		自律神経失調症		抑うつ状態	
5 その他参考事項 (別紙参照) …書き切れない場合							

- 備考 1 出勤状況は、年次休暇及び療養休暇の日数を記入する。
2 参考事項欄には発病(受傷)状況、学校における状況、休職歴等を具体的に記載する。
3 記入事項が多い場合は別紙を添付する。

〔人様式32〕

9 津島教学第〇〇〇〇号
令和 9 年 8 月 2 7 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の復職について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年月日	職 名	氏 名	休職事由	休 職 発 令 年月日	復職事由
09・10・15	(津島市立藤小学校) 教 諭	尾張あまね 1777777	抑うつ状態	07・10・15	病気全快
・ ・	()				
・ ・	()				

(備考) ・判定の年月日は、指示書の年月日とする。
・職名欄の () 内には学校名を記入する

〔人様式33〕

復 職 願

令和 9年 8月27日

愛知県教育委員会 殿

学 校 名 津島市立藤小学校

職・氏名 教諭 尾張あまね

令和 7年10月15日から病気休職中のところ全快したので復職したいから、承認
してください。

公立学校教職員事後措置指示書

学 校 名 津島市立藤小学校

氏 名 尾張あまね

事 後 措 置 B—1

備 考

愛知県公立学校教職員健康管理要領第4章1号の規定により、結核以外の疾病の事後措置を上記のとおり指示します。

令和 9年 8月16日

愛 知 県 教 育 委 員 会 公印

原本と相違ないことを証明します。

令和 8年 8月27日

愛知県津島市立藤小学校長

○ ○ ○ ○

学校名		校長 氏名		対象職員の 職・氏名	
期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()				
	措 置 内 容				
	生 活 規 正 (該当番号に○をつける)				医 療
1 か月	1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また、出張は原則として命じない。 2 始業及び終業時間を各 1 時間繰り下げ及び繰り上げる、又は終業時間を 2 時間繰り上げる。 3 業務量の軽減を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。 (3 の場合についての概要)				主治医の医療・指導を受けさせる
月 日 () ~ 月 日 ()					
2 か月	1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また、出張は原則として命じない。 2 始業及び終業時間を各 1 時間繰り下げ及び繰り上げる、又は終業時間を 2 時間繰り上げる。 3 業務量の軽減を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。 (3 の場合についての概要)				主治医の医療・指導を受けさせる
月 日 () ~ 月 日 ()					
3 か月	1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また、出張は原則として命じない。 2 始業及び終業時間を各 1 時間繰り下げ及び繰り上げる、又は終業時間を 2 時間繰り上げる。 3 業務量の軽減を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。 (3 の場合についての概要)				主治医の医療・指導を受けさせる
月 日 () ~ 月 日 ()					

参考：事後措置基準 B1 区分（愛知県公立学校教職員健康管理要領 別表第 2） について

- 1 深夜勤務、超過勤務、休日勤務及び宿日直勤務をさせない。また、出張は原則として命じない。
- 2 始業及び終業時間を各 1 時間繰り下げ及び繰り上げる、又は終業時間を 2 時間繰り上げる。
- 3 業務量の軽減を講ずるとともに、必要に応じ勤務場所又は職務の変更等を行う。

4 切迫流産による療休・休職の場合

切迫流産による 療休・休職について

< 事例 >

津島市立藤小学校

療養休暇・休職者 教諭 尾張あまね

生年月日 平成 元年 3月 8日

令和 7年 7月 3日 (木)	切迫流産の兆候あり	年休開始
令和 7年 7月 17日 (木)	症状が治癒しない	療休開始
令和 7年 10月 15日 (水)	90日を経過	休職開始
令和 8年 1月 1日 (木)	復職と同時に	産休開始
令和 8年 2月 5日 (木)		出産予定日
令和 8年 4月 22日 (水)		育休開始

年 休 開 始	療 休 開 始	休 職 開 始	復産 休 開 職始	出 産 予 定 日	育 休 開 始
7年 7 ・ 3 ▼	7 ・ 17 ▼	10 ・ 15 ▼	8年 1 ・ 1 ▼	2 ・ 5 ▼	4 ・ 22 ▼
年休	療休(90日)	休職	産休 (4週)	産休(12週)	育休

- ・ 年休届
- ・ 療休承認
・ 診断書
- ・ 復職時の
給料調整内申
- ・ 出産休暇承認

(人事関係提出書類)
長期療養者休暇者報告
常勤講師措置願
療休補充採用内申
休職補充採用内申

産休補充採用内申

育児休業内申
育休補充採用内申

休職審査願
休職内申

復職審査願
復職内申

→ 切迫流産の場合は、
内申書（人様式32）
のみ提出

1. 長期療養者報告

休暇が1か月以上の長期にわたるときは、長期療養休暇者の報告（服様式例3）を、また終了したときには、長期療養休暇終了の報告（服様式例4）を作成し、市町村教育委員会並びに教育事務協議会へ各1部提出する。

＜添付書類＞ ①医師の診断書又は意見書
②「療養休暇承認簿」写し

2. 常勤講師措置願

常勤講師は、原則として、1か月以上の長期病欠教員（養教は2週間以上）で、休職発令が見込まれる教員の補充に適用される。

※提出書類は『学校文書事務の手引き』を参照

3. 療休補充採用内申

2. 常勤講師措置願 の常勤講師措置願と同時に提出する。

※提出書類は『学校文書事務の手引き』を参照

4. 休職審査願

休職を要するものは、休職発令予定日50日前までに提出する。

※提出書類は『学校文書事務の手引き』を参照

＜提出部数・経路＞

地教委へ3部 → 事務所へ2部 → 県教委へ1部
（地教委1部＋事務所2部） （事務所1部＋県教委1部） （⑥⑧の原本を含む）

5. 休職内申

事後措置A1の指示があった場合、提出する。

※提出書類は『学校文書事務の手引き』を参照

6. 復職審査願

*切迫流産の場合は不要

7. 復職内申

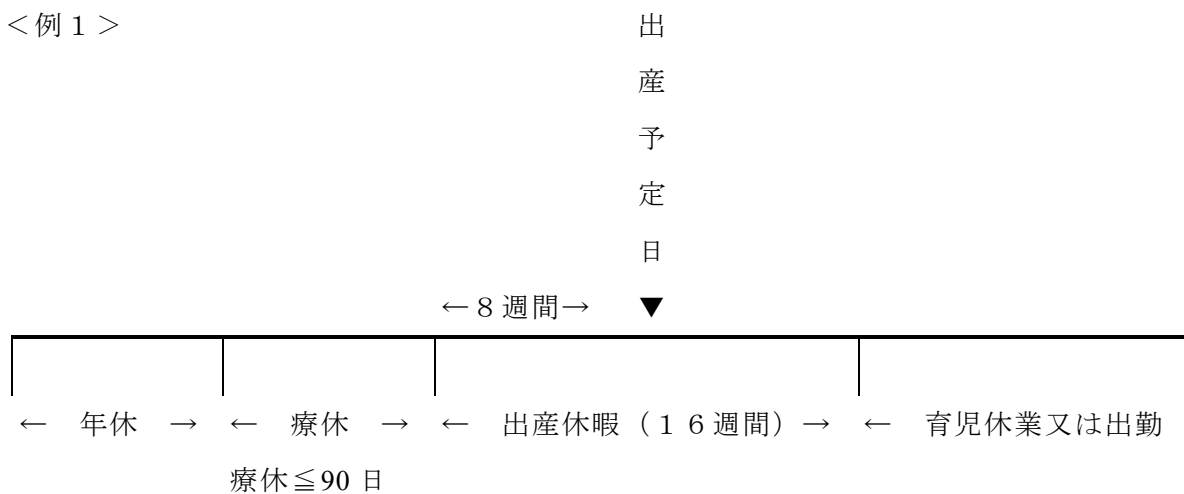
*切迫流産の場合、①内申書（人様式32）のみ提出する。休職中に出産した場合は、医師の分娩（出産）証明を提出し出産日で復職させる。また、この場合、休職補充職員の退職内申を行い同時に産休補充採用内申も行う。

切迫流産による休職の取扱について

1. 年休及び療養休暇 90 日を経過後、引き続き療養を要する場合、療養休暇 90 日の翌日から出産予定日前 4 週間（多胎妊娠 10 週間）に当たる日の前日まで休職発令を行う。したがって、出産休暇は出産予定日前 4 週間（多胎妊娠 10 週間）に当たる日から開始し、16 週間（多胎妊娠 22 週間）となる。
2. 休職期間中に出産（妊娠 4 カ月以降の出産に限る。）したときは、出産日をもって復職とし、出産日を含め 12 週間の出産休暇とする。
3. 復職については、休職審査・復職審査は行われないので、すぐに休職内申（または復職内申）をする。
ただし、出産予定日前 4 週間に当たる日より前に復職したい（産前休暇に入りたい）場合は、復職審査が必要となる。復職発令は行う。
4. 休職期間中の給与は、休職の全期間にわたって給料・扶養手当・住居手当・期末手当寒冷地手当が 100 分の 80 支給される。また、休職期間中は、退職手当期間としては 2 分の 1 除算される。

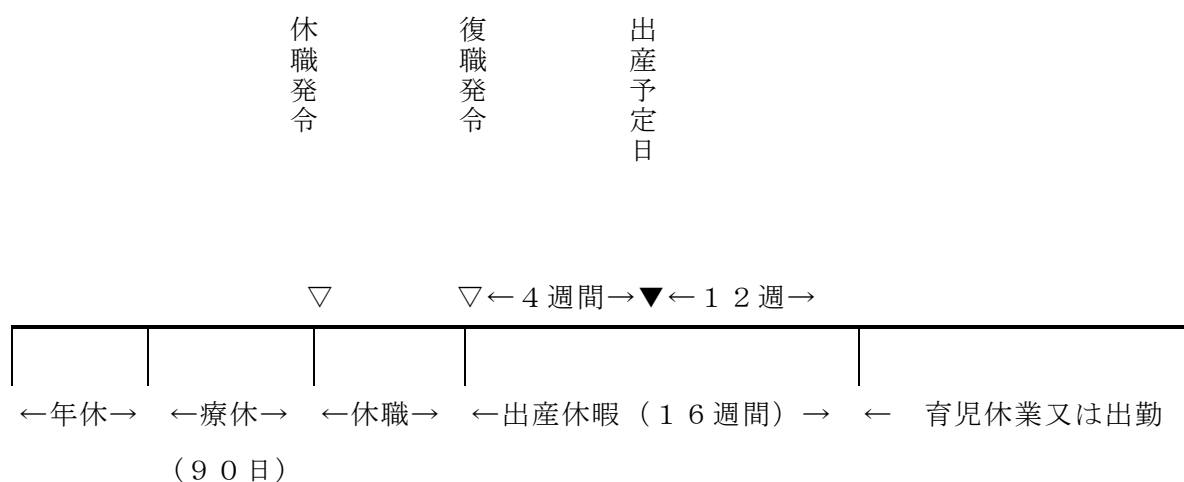
切迫流産による休職の取扱例

< 例 1 >



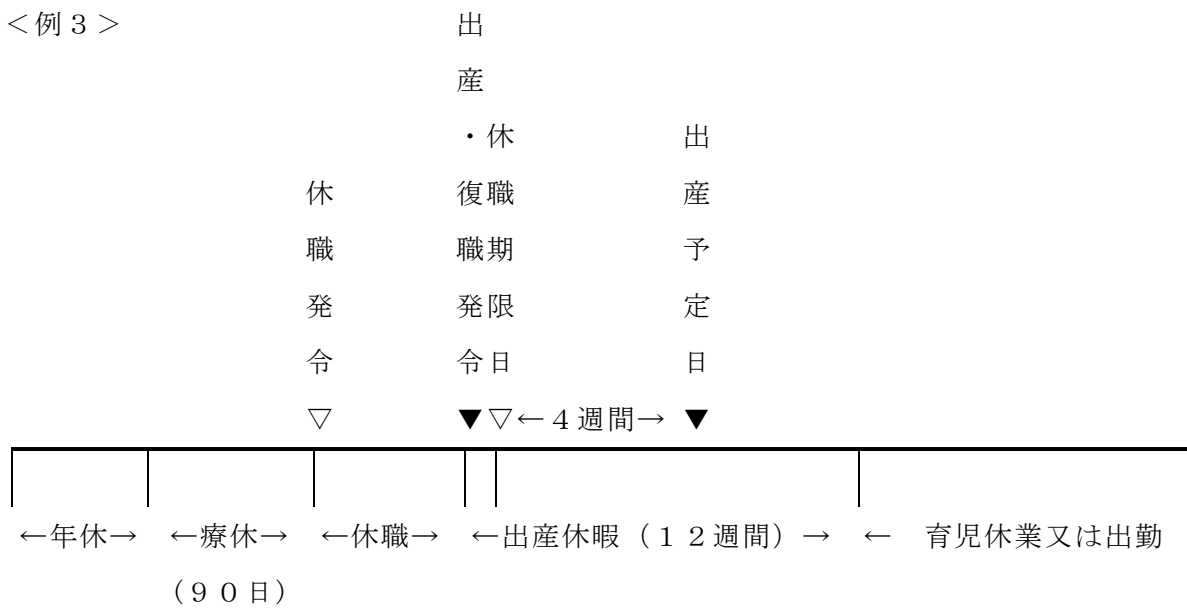
例 1 は、療養休暇 90 日以内のうちに出産予定日前 8 週間になる場合で、休職発令の問題が生じない例である。

< 例 2 >



例 2 は、切迫流産により休職とされた職員が出産予定日前 4 週間に当たる日以後に出産した場合の例である。

< 例 3 >



例 3 は、切迫流産により休職とされた職員が、妊娠 4 ケ月以降に出産予定日前 4 週間に当たる日（休職期限に当たる日）の前日までに出産した場合の例である。

〔人様式29〕

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7 年 9 月 5 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の休職について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年 月 日	職 名	氏 名	健康判定の区分	判定年月日	休 職 期 間
7・10・15	(藤小学校) 教 諭	尾張あまね 1666666	A 1	7・09・0 3	7・10・15から 7・12・31まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで
・ ・	()				・ ・ から ・ ・ まで

(備考) ・判定の年月日は、指示書の年月日とする。
・職名欄の()内には学校名を記入する

母性健康管理指導事項連絡カード

年 月 日

事業主 殿

医療機関等名

医師等氏名

下記の1の者は、健康診査及び保健指導の結果、下記2～4の措置を講ずることが必要であると認めます。

記

1. 氏名 等

氏名	妊娠週数	週	分娩予定日	年	月	日
----	------	---	-------	---	---	---

2. 指導事項

症状等(該当する症状等を○で囲んでください。)

措置が必要となる症状等
つわり、妊娠 ^{おそ} 悪阻、貧血、めまい・立ちくらみ、 腹部緊満感、子宮収縮、腹痛、性器出血、 腰痛、痔、静脈 ^{りゅう ふしゅ} 瘤、浮腫、手や手首の痛み、 頻尿、排尿時痛、残尿感、全身倦怠感、動悸、 頭痛、血圧の上昇、蛋白尿、妊娠糖尿病、 赤ちゃん(胎児)が週数に比べ小さい、 多胎妊娠(胎)、産後体調が悪い、 妊娠中・産後の不安・不眠・落ち着かないなど、 合併症等()

指導事項(該当する指導事項欄に○を付けてください。)

標準措置	指導事項
休業	入院加療
	自宅療養
	勤務時間の短縮
作業の制限	身体的負担の大きい作業(注)
	長時間の立作業
	同一姿勢を強制される作業
	腰に負担のかかる作業
	寒い場所での作業
	長時間作業場を離れることのできない作業
	ストレス・緊張を多く感じる作業

(注)「身体的負担の大きい作業」のうち、特定の作業について制限の必要がある場合には、指導事項欄に○を付けた上で、具体的な作業を○で囲んでください。

標準措置に関する具体的内容、標準措置以外の必要な措置等の特記事項

--

3. 上記2の措置が必要な期間

(当面の予定期間に○を付けてください。)

1週間(月 日～ 月 日)	
2週間(月 日～ 月 日)	
4週間(月 日～ 月 日)	
その他(月 日～ 月 日)	

4. その他の指導事項

(措置が必要である場合は○を付けてください。)

妊娠中の通勤緩和の措置 (在宅勤務を含む。)	
妊娠中の休憩に関する措置	

指導事項を守るための措置申請書

年 月 日

上記のとおり、医師等の指導事項に基づく措置を申請します。

所属

氏名

事業主 殿

この様式の「母性健康管理指導事項連絡カード」の欄には医師等が、また、「指導事項を守るための措置申請書」の欄には女性労働者が記入してください。

(参考) 症状等に対して考えられる措置の例

症状名等	措置の例
つわり、妊娠悪阻	休業(入院加療)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業(長時間作業場を離れることのできない作業)の制限、においがきつい・換気が悪い・高温多湿などのつわり症状を増悪させる環境における作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
貧血、めまい・立ちくらみ	勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業(高所や不安定な足場での作業)の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
腹部緊満感、子宮収縮	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業(長時間の立作業、同一姿勢を強制される作業、長時間作業場所を離れることのできない作業)の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
腹痛	休業(入院加療)、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
性器出血	休業(入院加療)、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
腰痛	休業(自宅療養)、身体的に負担の大きい作業(長時間の立作業、同一姿勢を強制される作業、腰に負担のかかる作業) の制限 など
痔	身体的負担の大きい作業(長時間の立作業、同一姿勢を強制される作業)の制限、休憩の配慮 など
静脈瘤	勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業(長時間の立作業、同一姿勢を強制される作業)の制限、休憩の配慮 など
浮腫	勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業(長時間の立作業、同一姿勢を強制される作業)の制限、休憩の配慮 など
手や手首の痛み	身体的負担の大きい作業(同一姿勢を強制される作業)の制限、休憩の配慮 など
頻尿、排尿時痛、残尿感	休業(入院加療・自宅療養)、身体的負担の大きい作業(寒い場所での作業、長時間作業場を離れることのできない作業)の制限、休憩の配慮 など
全身倦怠感	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、休憩の配慮、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
動悸	休業(入院加療・自宅療養)、身体的負担の大きい作業の制限、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
頭痛	休業(入院加療・自宅療養)、身体的負担の大きい作業の制限、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
血圧の上昇	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置 など
蛋白尿	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限 など
妊娠糖尿病	休業(入院加療・自宅療養)、疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置(インスリン治療中等への配慮) など
赤ちゃん(胎児)が週数に比べ小さい	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
多胎妊娠(胎)	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
産後体調が悪い	休業(自宅療養)、勤務時間の短縮、身体的負担の大きい作業の制限、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
妊娠中・産後の不安・不眠・落ち着かないなど	休業(入院加療・自宅療養)、勤務時間の短縮、ストレス・緊張を多く感じる作業の制限、通勤緩和、休憩の配慮 など
合併症等(自由記載)	疾患名に応じた主治医等からの具体的な措置、もしくは上記の症状名等から参照できる措置 など

〔人様式32〕

7 津島教学第〇〇〇〇号
令和 7 年 1 2 月 2 日

愛知県教育委員会 殿

津島市教育委員会

教員の復職について(内申)

下記のとおり発令してください。

記

発 令 年 月 日	職 名	氏 名	休 職 事 由	休 職 発 令 年 月 日	復 職 事 由
7・12・2	(藤小学校) 教 諭	尾張あまね 1666666	切迫流産	8・1・1	切迫流産のおそ れがなくなった ため。
・ ・	()			・ ・	
・ ・	()			・ ・	
・ ・	()			・ ・	
・ ・	()			・ ・	

(備考) 職名欄の () 内に学校名を記入する。